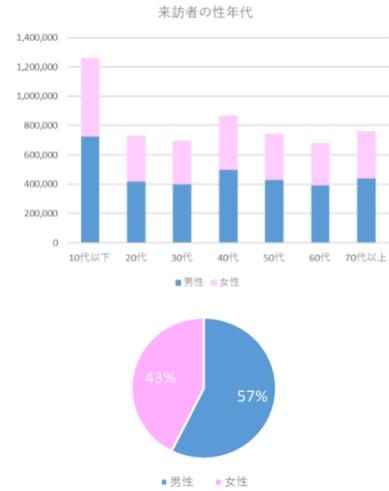
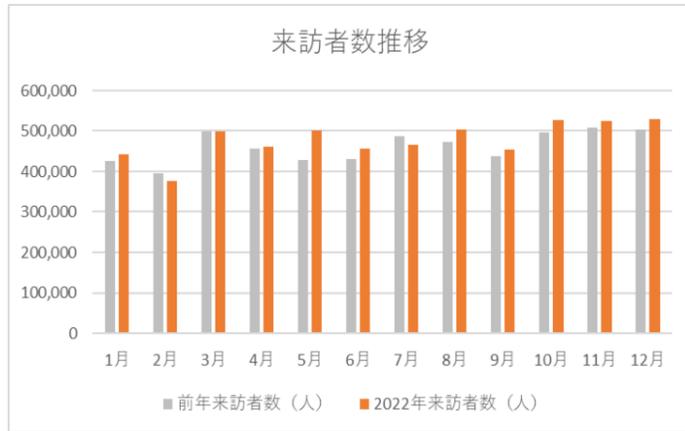


別府市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	441,200	377,000	499,400	460,000	500,700	457,400	464,900	503,500	454,800	527,800	525,500	530,100	5,742,300
前年来訪者数 (人)	425,600	396,100	498,900	456,600	427,900	429,800	487,100	473,600	438,100	496,000	507,300	502,600	5,539,600
前年比 (%)	103.7%	95.2%	100.1%	100.7%	117.0%	106.4%	95.4%	106.3%	103.8%	106.4%	103.6%	105.5%	103.7%

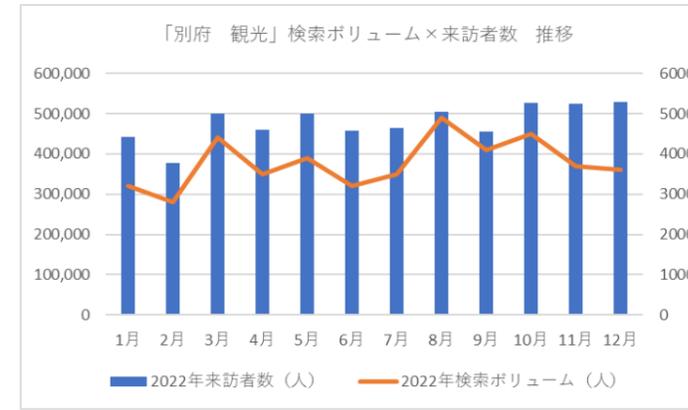


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	74.5%
2 福岡県	11.0%
3 熊本県	1.7%
4 東京都	1.7%
5 宮崎県	1.4%
6 山口県	1.2%
7 大阪府	0.9%
8 佐賀県	0.9%
9 長崎県	0.8%
10 神奈川県	0.7%

● 別府市に関する興味関心

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「別府 観光」都道府県別検索者ボリューム

	都道府県	検索ボリューム	特徴度
1	福岡県	4300	5
2	東京都	3900	1.5
3	大阪府	3200	3.5
4	大分県	2100	5
5	愛知県	2000	2.5
6	神奈川県	1100	1
7	埼玉県	910	1
8	千葉県	780	1
9	兵庫県	740	2
10	広島県	710	4.5

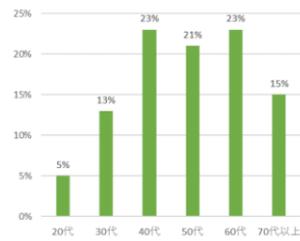
※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

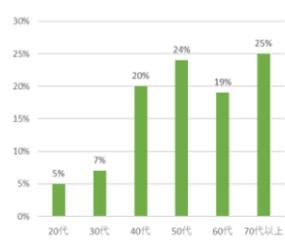
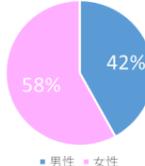
出典：Datawise Area Marketer

海地獄



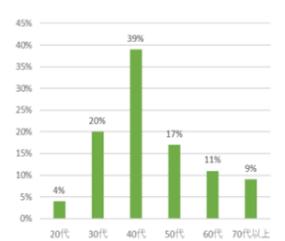
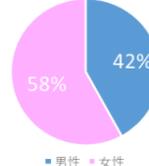
来訪元	割合
1 福岡県	16.87%
2 大分県	9.09%
3 東京都	8.30%
4 大阪府	7.50%
5 神奈川県	5.64%
6 千葉県	4.74%
7 愛知県	4.34%
8 兵庫県	3.77%
9 埼玉県	3.68%
10 熊本県	3.26%

別府駅



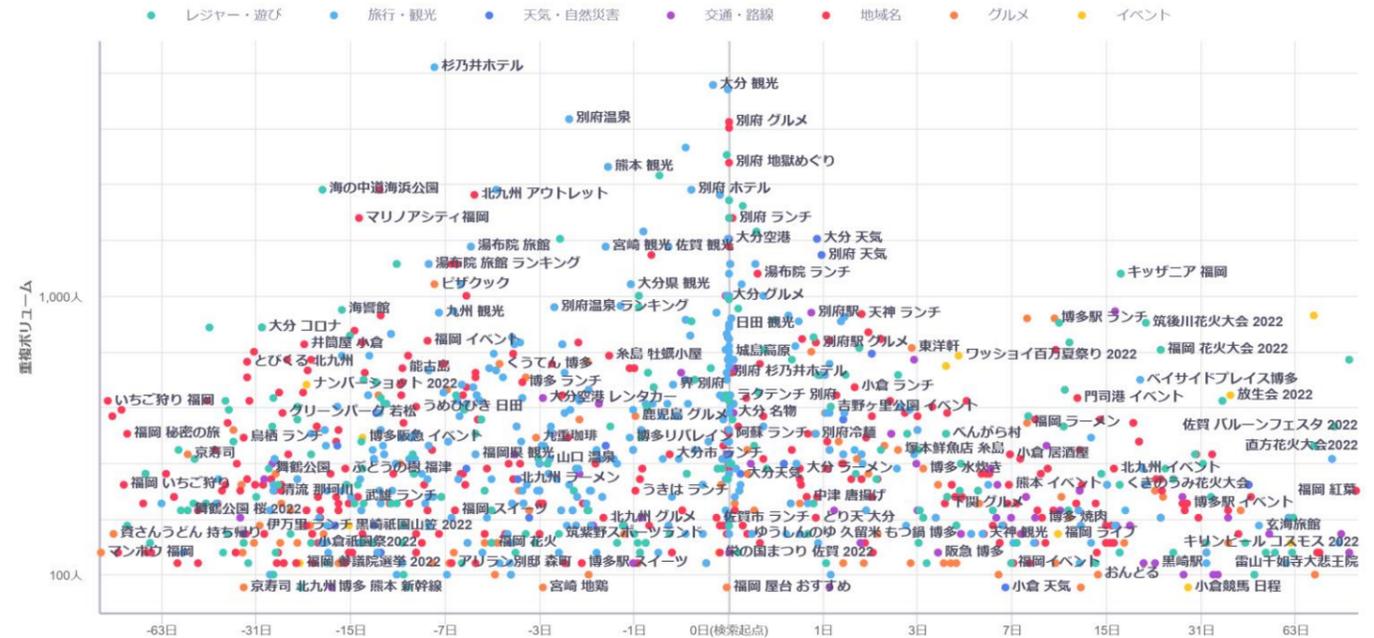
来訪元	割合
1 大分県	49.61%
2 福岡県	15.13%
3 東京都	4.66%
4 大阪府	3.40%
5 神奈川県	2.57%
6 熊本県	2.12%
7 兵庫県	2.08%
8 千葉県	1.73%
9 広島県	1.37%
10 埼玉県	1.35%

城島高原パーク



来訪元	割合
1 大分県	36.68%
2 福岡県	35.54%
3 熊本県	6.04%
4 佐賀県	3.26%
5 山口県	2.95%
6 長崎県	2.84%
7 宮崎県	2.62%
8 鹿児島県	1.21%
9 東京都	0.95%
10 広島県	0.76%

「別府 観光」を検索した人の時系列キーワード



「別府 観光」の検索ボリューム：42,600

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

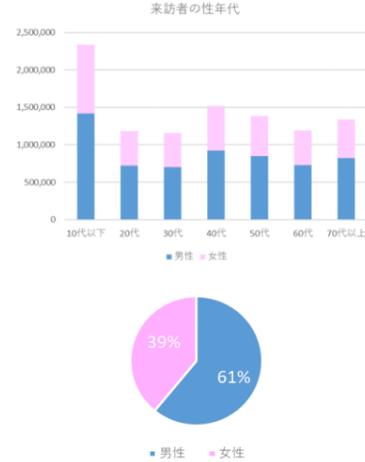
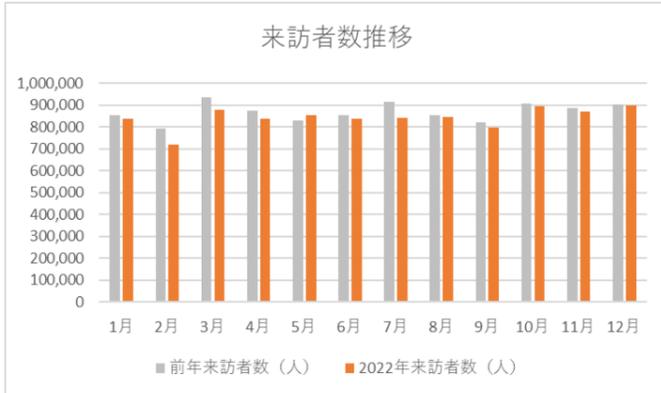
別府市来訪者は、10代以下や40代が多いことからファミリー層に多く選ばれている傾向が伺える。また、観光スポットの来訪者などをみても、九州外からの来訪者から多く選ばれている傾向が見受けられる。また、「別府 観光」を検索する前にホテルや旅館を多く調べられていることなどから、宿泊先と連携した観光プロモーションや着地型コンテンツを検討する事などにより、滞在時間の延長や消費額の拡大に繋げられるのではないだろうか。

大分市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

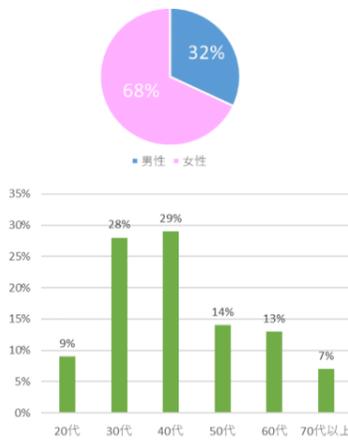
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	837,500	718,900	879,500	837,900	854,300	836,600	839,800	846,100	797,500	894,200	868,500	897,800	10,108,600
前年来訪者数 (人)	853,500	791,200	935,400	874,700	829,300	852,700	913,600	853,900	819,200	908,100	884,400	903,800	10,419,800
前年比 (%)	98.1%	90.9%	94.0%	95.8%	103.0%	98.1%	91.9%	99.1%	97.4%	98.5%	98.2%	99.3%	97.0%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (2022年1月～2022年12月)

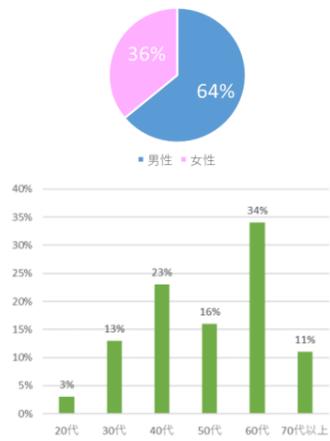
出典：Datawise Area Marketer

うみたまご



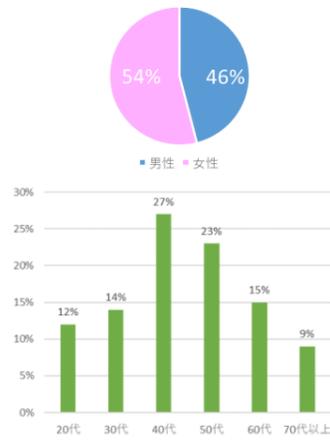
来訪元	割合
1 大分県	30.08%
2 福岡県	25.92%
3 熊本県	7.85%
4 宮崎県	3.51%
5 佐賀県	2.95%
6 山口県	2.31%
7 愛媛県	2.01%
8 長崎県	1.92%
9 東京都	1.68%
10 大阪府	1.60%

高崎山自然動物園



来訪元	割合
1 大分県	33.10%
2 福岡県	32.21%
3 熊本県	5.37%
4 山口県	4.39%
5 佐賀県	2.72%
6 広島県	2.61%
7 宮崎県	2.57%
8 東京都	2.39%
9 長崎県	1.99%
10 大阪府	1.88%

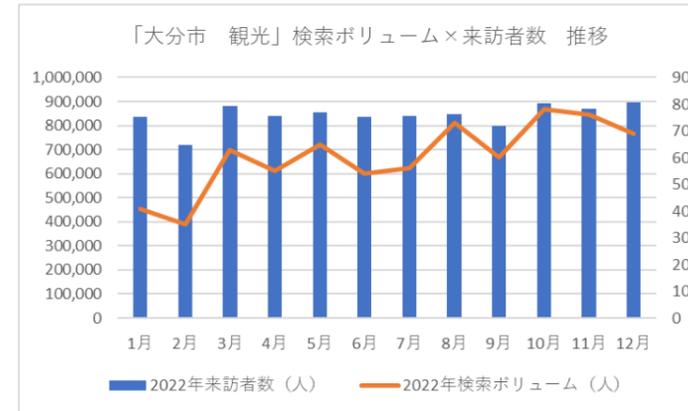
大分駅



来訪元	割合
1 大分県	70.02%
2 福岡県	35.54%
3 東京都	6.04%
4 宮崎県	3.26%
5 熊本県	2.95%
6 大阪府	2.84%
7 神奈川県	2.62%
8 千葉県	1.21%
9 兵庫県	0.95%
10 山口県	0.76%

● 大分市に関する興味関心 (2022年1月～2022年12月)

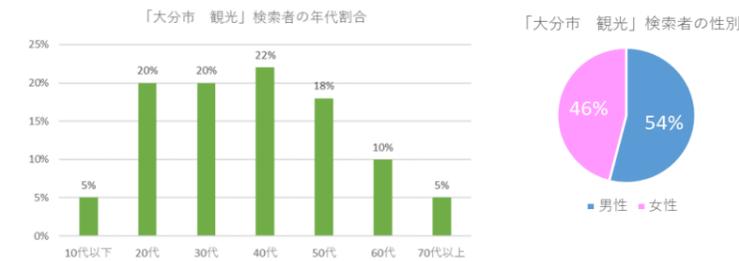
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「大分市 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 福岡県	690	5
2 東京都	550	1
3 大分県	490	5
4 大阪府	430	2.5
5 愛知県	340	2
6 埼玉県	150	1
7 熊本県	130	5
8 神奈川県	130	0.5
9 宮崎県	110	5
10 千葉県	110	1

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。



「大分市 観光」を検索した人の時系列キーワード



「大分市 観光」の検索ボリューム: 6,900

【抽出条件】

期間: 2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム: 1,000～100,000,000 / 重複ボリューム: 10～10,000,000 / 関連度: 1.3～10 / 検索時間差: -360～360

※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

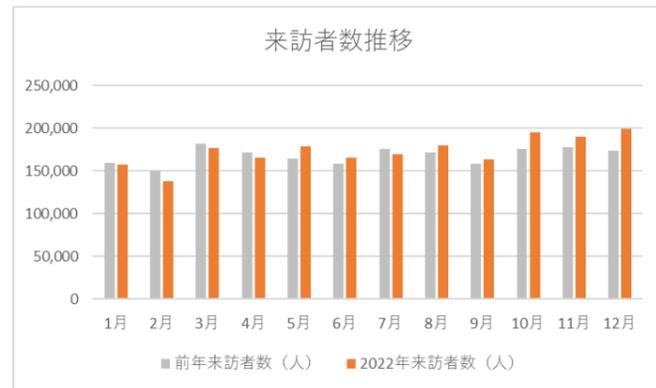
「大分市 観光」の検索ボリュームの推移から、観光での需要は連休や行楽シーズンに高くなっており浮き沈みがある中、年間を通して来訪者数は安定していることなどからビジネス客の来訪が多いと推測される。また、「大分市 観光」を検索すると同時に「大分県 観光」も検索されていることや、県域版カルテに掲載の併用割合も大分駅を中心として高いことなどから、大分県の旅の拠点となっていることが伺える。これらの滞在者に向けて、市内での滞在時間の延長や消費の拡大を促すような施策により、来訪者の満足度も高まると考えられる。

日出町

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

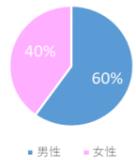
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	157,000	137,800	177,100	165,000	178,700	165,800	169,900	180,000	163,200	195,500	190,400	198,900	2,079,300
前年来訪者数 (人)	159,300	150,200	181,600	171,800	164,200	158,300	176,100	171,500	158,100	175,400	178,100	173,200	2,017,800
前年比 (%)	98.6%	91.7%	97.5%	96.0%	108.8%	104.7%	96.5%	105.0%	103.2%	111.5%	106.9%	114.8%	103.0%



来訪元ランキング (都道府県)

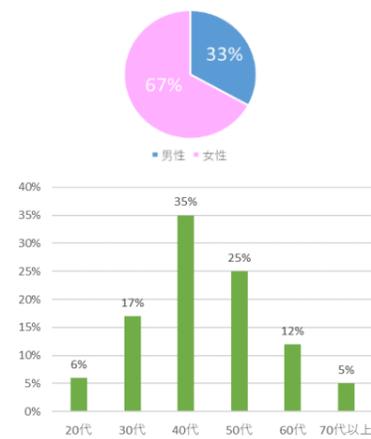
来訪元	割合
1 大分県	85.3%
2 福岡県	8.3%
3 熊本県	1.0%
4 宮崎県	0.9%
5 山口県	0.8%
6 東京都	0.7%
7 佐賀県	0.5%
8 長崎県	0.5%
9 広島県	0.3%
10 愛媛県	0.2%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

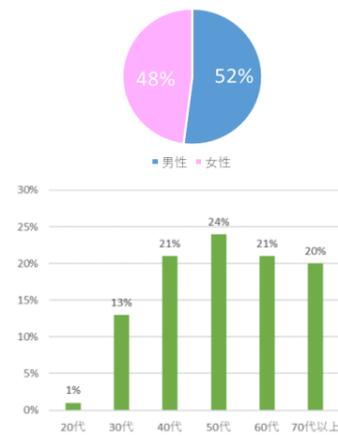
出典：Datawise Area Marketer

ハーモニーランド



来訪元	割合
1 大分県	45.02%
2 福岡県	29.92%
3 熊本県	4.98%
4 佐賀県	2.67%
5 山口県	2.49%
6 宮崎県	2.13%
7 長崎県	1.48%
8 東京都	1.41%
9 鹿児島県	1.39%
10 広島県	1.23%

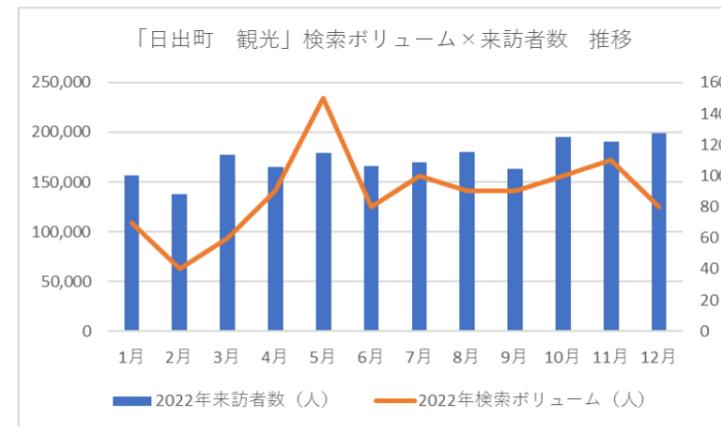
糸ヶ浜海浜公園



来訪元	割合
1 大分県	83.30%
2 福岡県	10.41%
3 千葉県	0.95%
4 熊本県	0.82%
5 埼玉県	0.68%
6 広島県	0.54%
7 神奈川県	0.54%
8 宮崎県	0.29%
9 山口県	0.27%
10 愛媛県	0.27%

● 日出町に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



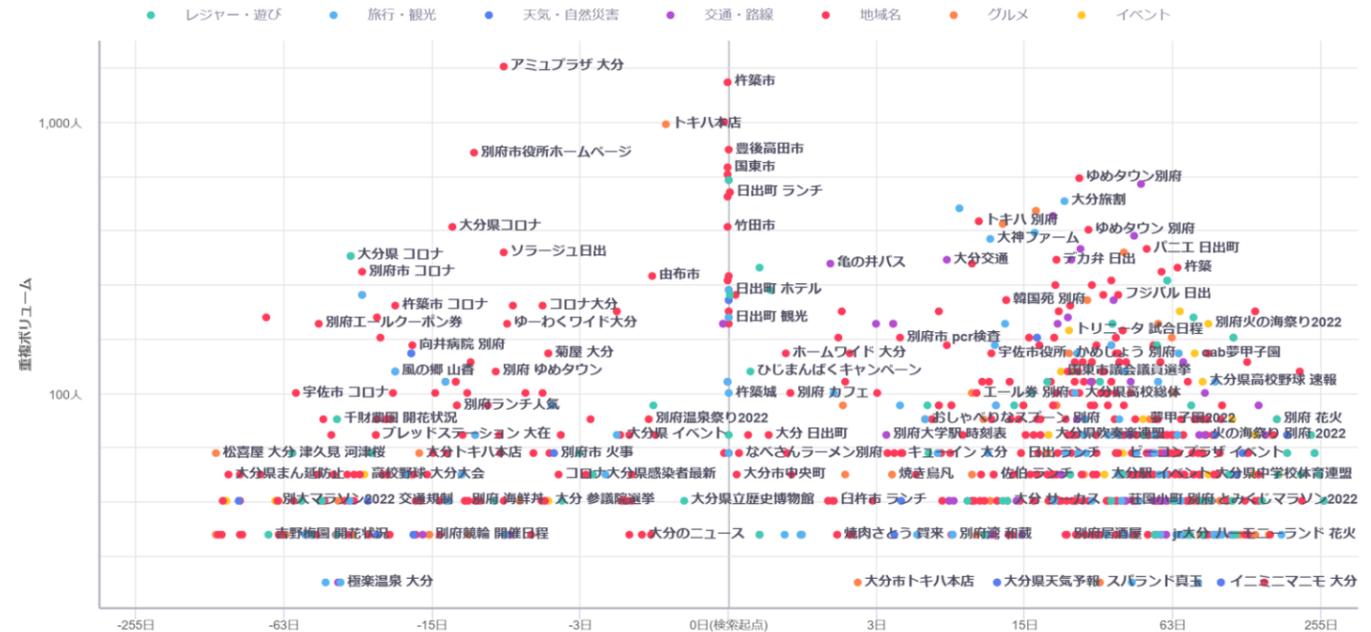
「日出町 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	230	5
2 東京都	80	1
3 福岡県	80	5
4 大阪府	60	1.5
5 愛知県	40	1.5
6 神奈川県	20	0.5
7 埼玉県	20	1
8 兵庫県	20	2
9 北海道	10	0.5
10 千葉県	10	0

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



「日出町」を検索した人の時系列キーワード



「日出町」の検索ボリューム：12,500

【抽出条件】

期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360

※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

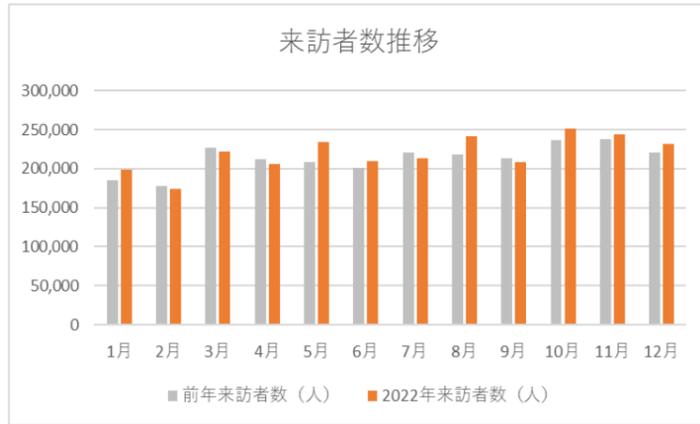
ハーモニーランドなどの観光施設を有する日出町は、GWや夏休みシーズンの来訪者が多い傾向にあり、全国を対象とした旅行支援が開始した10月以降は特に前年比を大きく伸ばしている。来訪者の属性としては10代や40代が多く、ファミリー層が多いことが推測される。また、九州域内だけではなく山口県や広島県からも来訪が多い傾向にある。「日出町」を検索した人は「杵築市」も同時に検索する人が多く、県域版カルテの併用割合をみても杵築市との併用は多いことなどから、隣接する杵築市や別府市と連携したプロモーションを行うのも効果的だと考えられる。

由布市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	197,900	173,500	222,300	206,300	233,900	209,100	213,600	241,100	207,700	250,600	244,300	231,300	2,631,600
前年来訪者数 (人)	184,700	177,600	227,000	211,500	207,800	201,300	220,000	218,600	212,900	236,000	237,900	220,100	2,555,400
前年比 (%)	107.1%	97.7%	97.9%	97.5%	112.6%	103.9%	97.1%	110.3%	97.6%	106.2%	102.7%	105.1%	103.0%



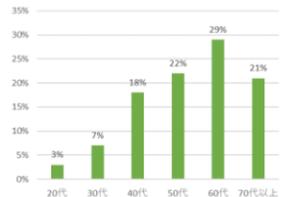
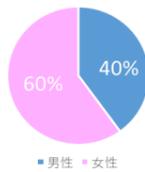
来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	74.4%
2 福岡県	13.0%
3 熊本県	2.3%
4 長崎県	1.3%
5 佐賀県	1.3%
6 宮崎県	1.1%
7 東京都	1.1%
8 山口県	1.0%
9 鹿児島県	0.6%
10 広島県	0.5%

● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

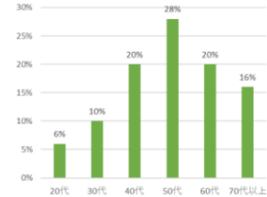
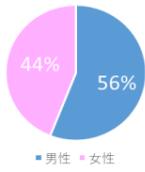
出典：Datwise Area Marketer

由布院駅



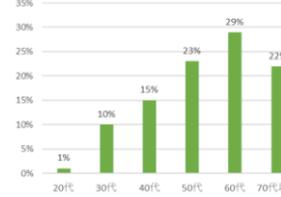
来訪元	割合
1 福岡県	27.58%
2 大分県	20.89%
3 東京都	6.39%
4 大阪府	3.79%
5 熊本県	3.35%
6 千葉県	3.26%
7 神奈川県	3.04%
8 佐賀県	2.83%
9 兵庫県	2.56%
10 長崎県	2.36%

湯の坪街道



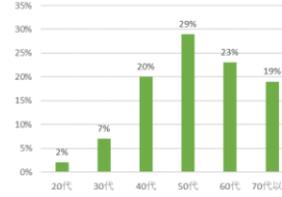
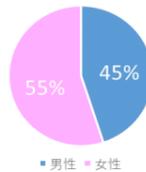
来訪元	割合
1 福岡県	29.38%
2 大分県	22.97%
3 熊本県	5.46%
4 東京都	4.51%
5 佐賀県	3.41%
6 大阪府	3.34%
7 長崎県	2.88%
8 神奈川県	2.49%
9 山口県	2.19%
10 兵庫県	2.13%

湯平温泉



来訪元	割合
1 大分県	50.32%
2 福岡県	22.30%
3 熊本県	3.59%
4 山口県	3.58%
5 佐賀県	3.02%
6 宮崎県	1.62%
7 東京都	1.54%
8 広島県	1.33%
9 長崎県	1.27%
10 鹿児島県	1.07%

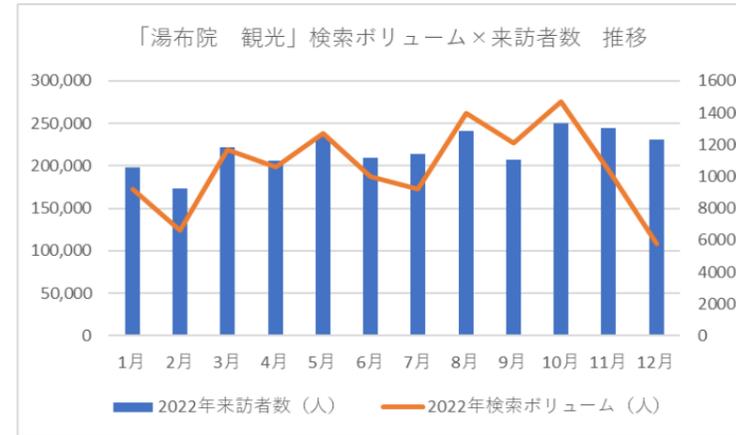
道の駅ゆふいん



来訪元	割合
1 大分県	32.73%
2 福岡県	32.66%
3 熊本県	5.65%
4 佐賀県	4.35%
5 山口県	2.98%
6 長崎県	2.86%
7 大阪府	1.86%
8 宮崎県	1.61%
9 東京都	1.34%
10 広島県	1.24%

● 由布市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

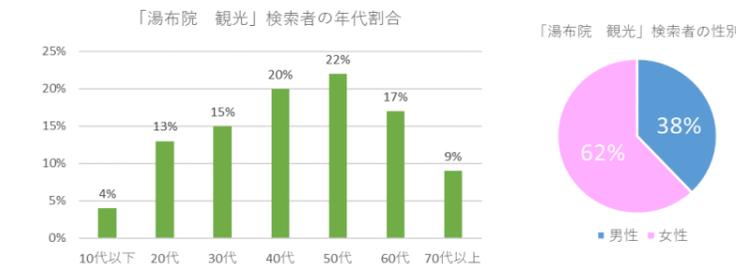
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



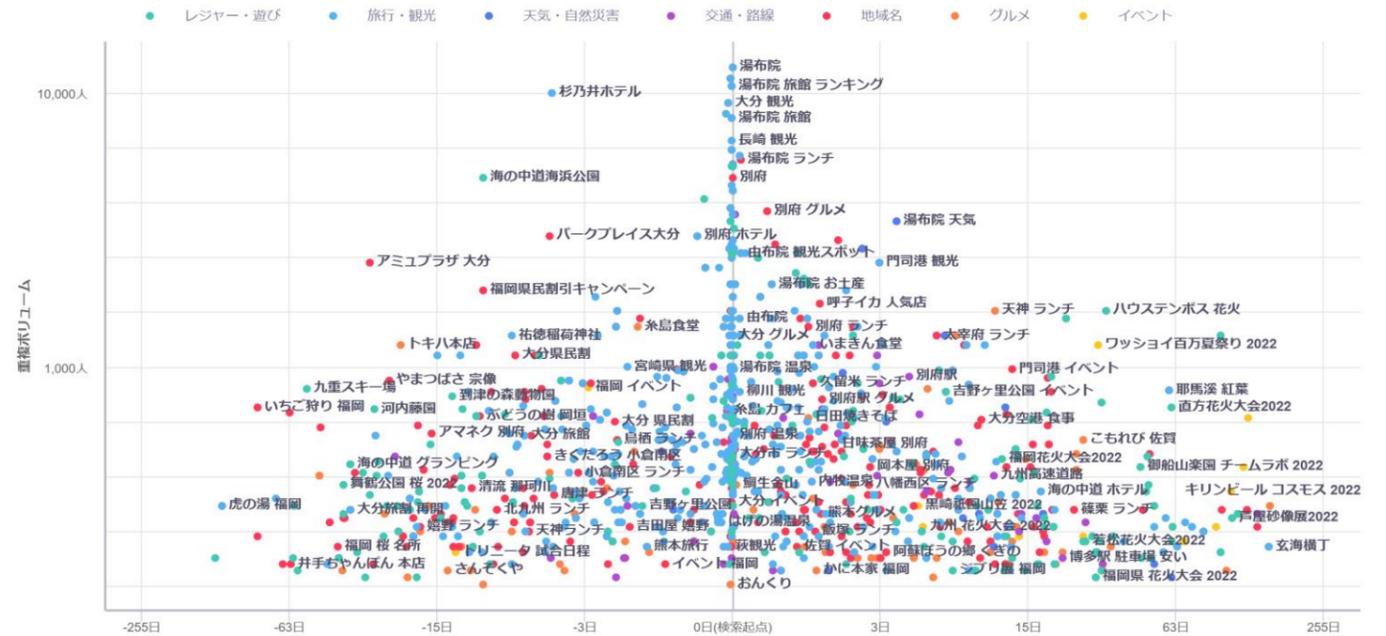
「湯布院 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 東京都	11900	1.5
2 大阪府	9800	3
3 福岡県	9700	5
4 愛知県	6700	2.5
5 大分県	5400	5
6 神奈川県	4300	1.5
7 埼玉県	3700	1.5
8 兵庫県	3000	3
9 千葉県	2800	1.5
10 北海道	2000	1

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



「湯布院 観光」を検索した人の時系列キーワード



「湯布院 観光」の検索ボリューム：117,000

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

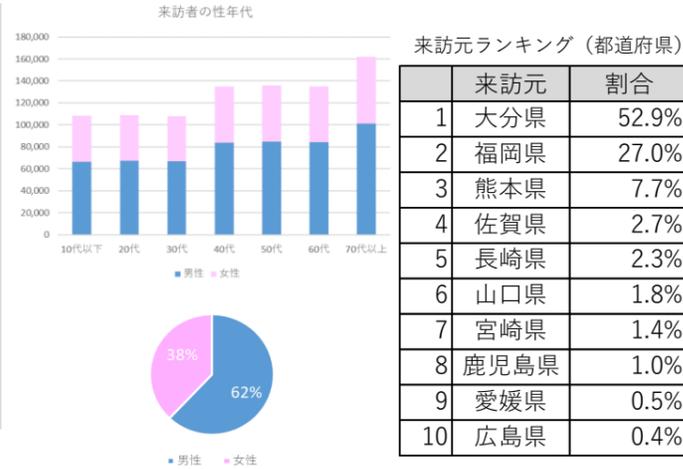
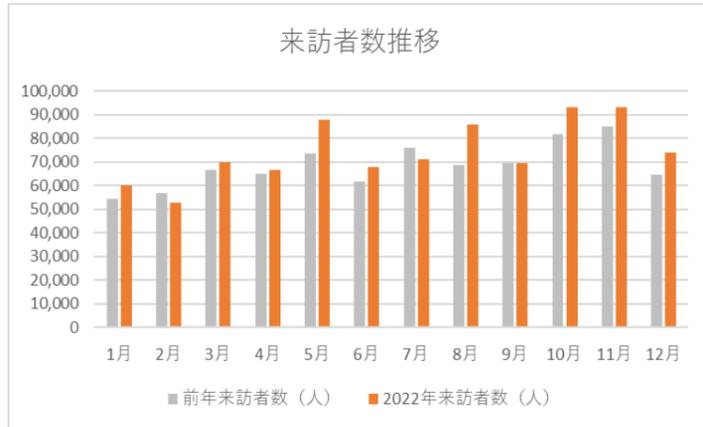
由布市の来訪者の属性を見ると、比較的高年齢層の来訪が多いことが伺える。また、特に主要観光スポットの来訪者は福岡県をはじめとする県外客が多く、由布市全体でも県外からの来訪が多い傾向にある。
 県域版カルテの併用割合をみても域内での周遊も多くなっており、「湯布院 観光」と同時にホテル・旅館に関する検索も多いことから、宿泊施設と連携した滞在コンテンツの充実や情報発信などを強化する事により更なる消費の拡大や旅の満足度向上に繋がるのではないだろうか。

九重町

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

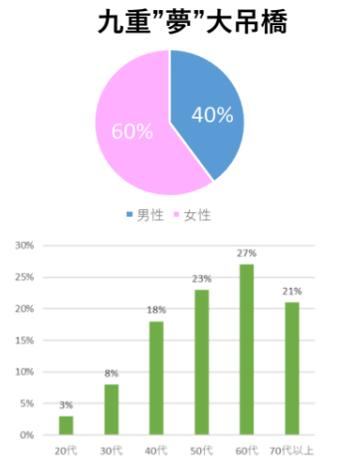
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	60,100	52,600	69,700	66,500	87,700	68,000	71,000	85,900	69,470	93,100	93,200	73,800	891,070
前年来訪者数 (人)	54,300	56,900	66,500	65,100	73,400	61,600	75,900	68,700	69,300	81,700	84,800	64,600	822,800
前年比 (%)	110.7%	92.4%	104.8%	102.2%	119.5%	110.4%	93.5%	125.0%	100.2%	114.0%	109.9%	114.2%	108.3%

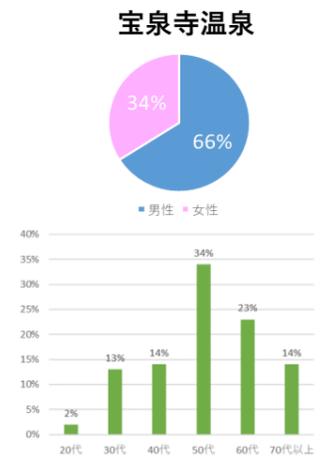


● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：Datawise Area Marketer



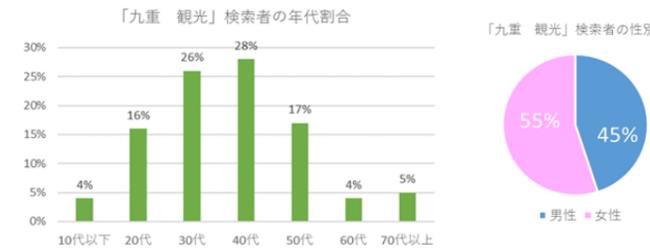
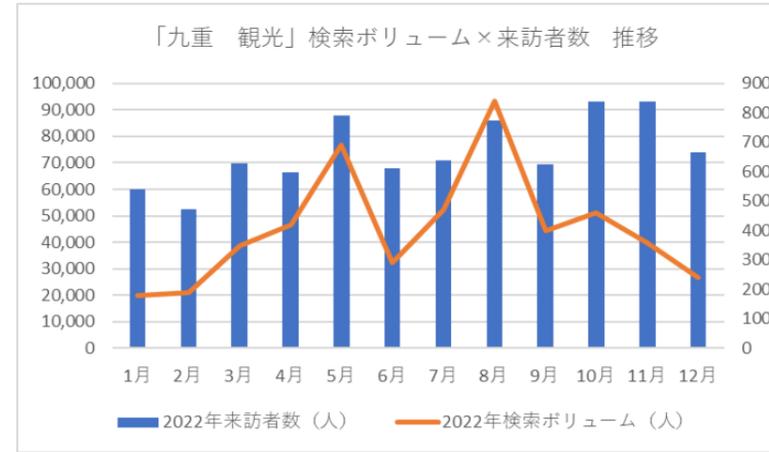
来訪元	割合
1 福岡県	30.24%
2 大分県	15.06%
3 熊本県	7.39%
4 大阪府	4.92%
5 佐賀県	3.53%
6 長崎県	3.48%
7 兵庫県	3.03%
8 東京都	2.93%
9 神奈川県	2.76%
10 山口県	2.74%



来訪元	割合
1 大分県	31.96%
2 福岡県	27.77%
3 熊本県	16.60%
4 佐賀県	3.21%
5 長崎県	2.38%
6 山口県	2.20%
7 東京都	1.89%
8 大阪府	1.56%
9 鹿児島県	1.31%
10 神奈川県	1.06%

● 九重町に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

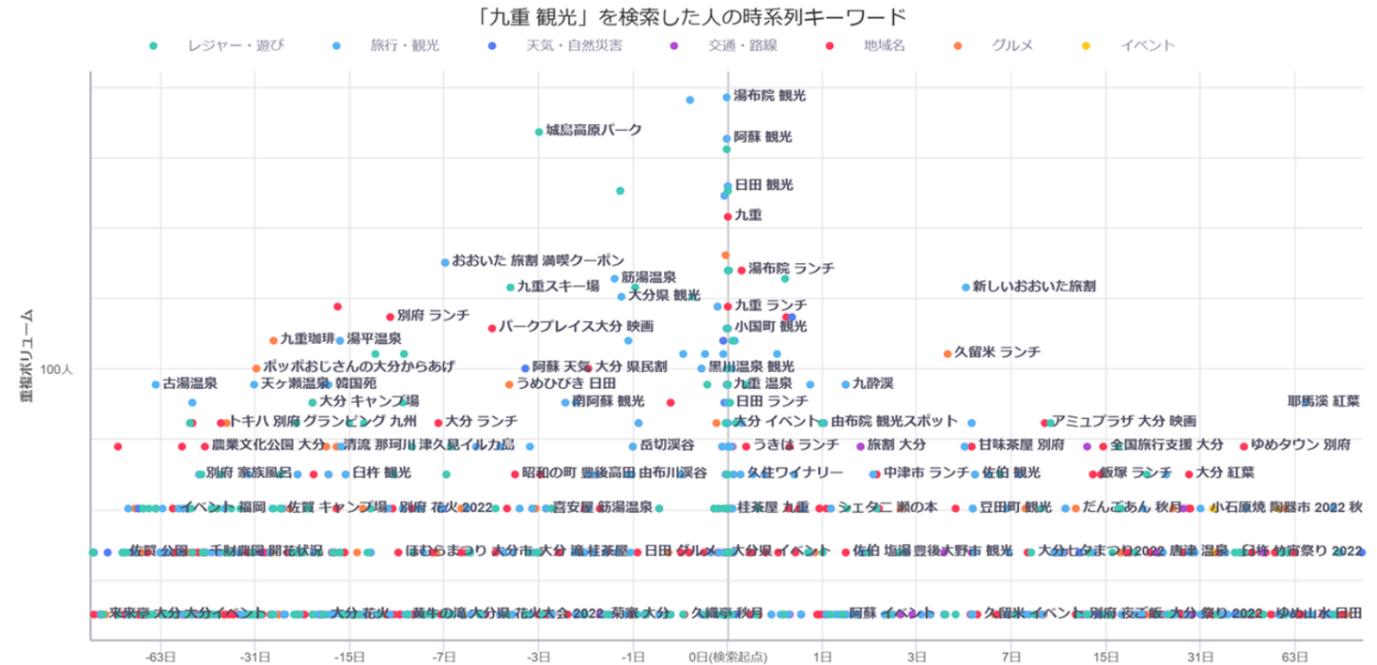
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「九重 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 福岡県	790	5
2 大分県	390	5
3 大阪府	280	2
4 東京都	220	0.5
5 愛知県	160	1.5
6 熊本県	120	5
7 埼玉県	60	0.5
8 山口県	60	5
9 神奈川県	50	0.5
10 千葉県	50	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



「九重 観光」の検索ボリューム：4,700

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

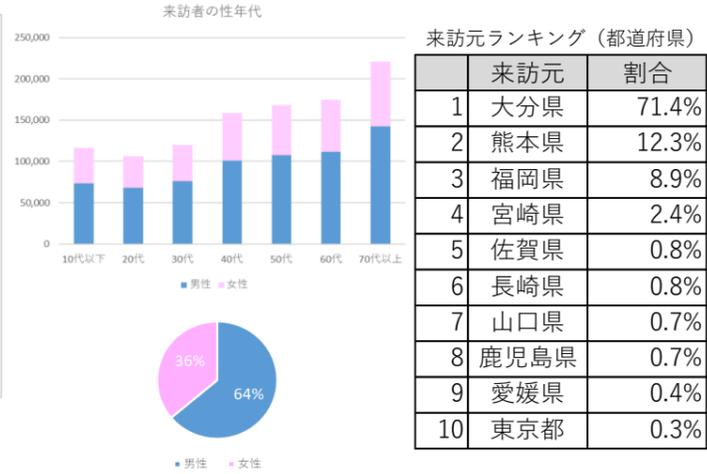
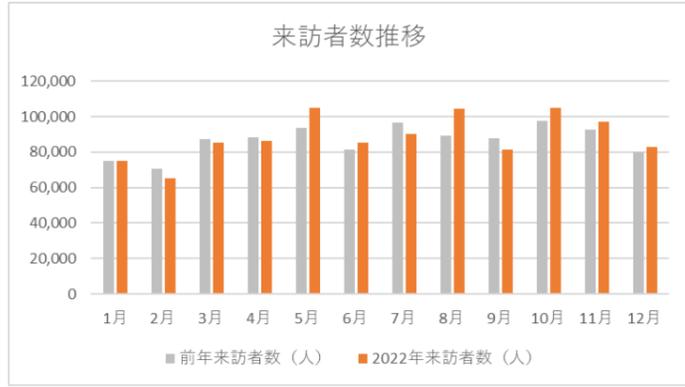
九重町の来訪者の属性をみると、比較的高年齢層の来訪が多い傾向にあり、福岡県や熊本県をはじめとして県外からの来訪者が半数弱と多いことが特徴的である。「九重 観光」を検索した人は同時に他県や他エリアの観光情報も検索する人が多く、旅の検討段階に選んでもらえるよう他エリアとの差別化を図ったうえで、ゆふいんなどの近隣市町村と連携したプロモーションなどを行うことも効果的だと考えられる。

竹田市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

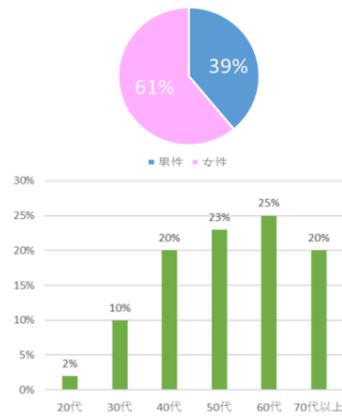
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	75,200	65,000	85,300	86,200	104,900	85,100	90,000	104,200	81,230	104,900	97,200	82,600	1,061,830
前年来訪者数 (人)	75,200	70,700	87,000	88,100	93,800	81,400	96,400	89,300	87,800	97,700	92,600	79,800	1,039,800
前年比 (%)	100.0%	91.9%	98.0%	97.8%	111.8%	104.5%	93.4%	116.7%	92.5%	107.4%	105.0%	103.5%	102.1%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

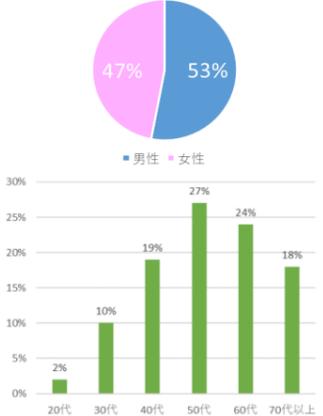
出典：Datawise Area Marketer

くじゅう花公園



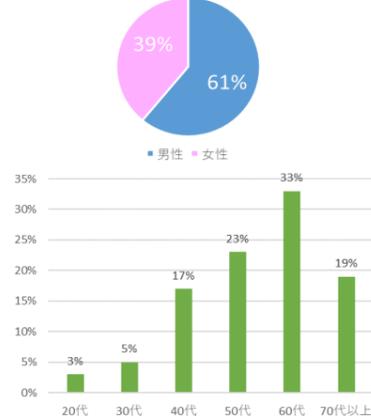
来訪元	割合
1 大分県	30.67%
2 福岡県	27.72%
3 熊本県	16.94%
4 佐賀県	3.52%
5 宮崎県	3.09%
6 長崎県	2.46%
7 鹿児島県	1.73%
8 大阪府	1.42%
9 山口県	1.42%
10 愛媛県	0.94%

岡城跡・城下町



来訪元	割合
1 大分県	63.59%
2 福岡県	9.61%
3 熊本県	7.61%
4 宮崎県	2.43%
5 東京都	1.51%
6 神奈川県	1.42%
7 大阪府	1.36%
8 愛知県	1.17%
9 山口県	1.04%
10 長崎県	0.81%

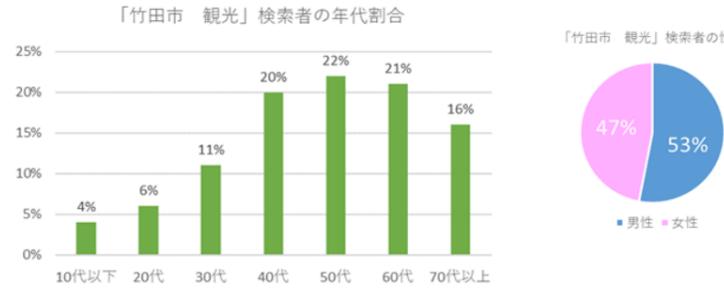
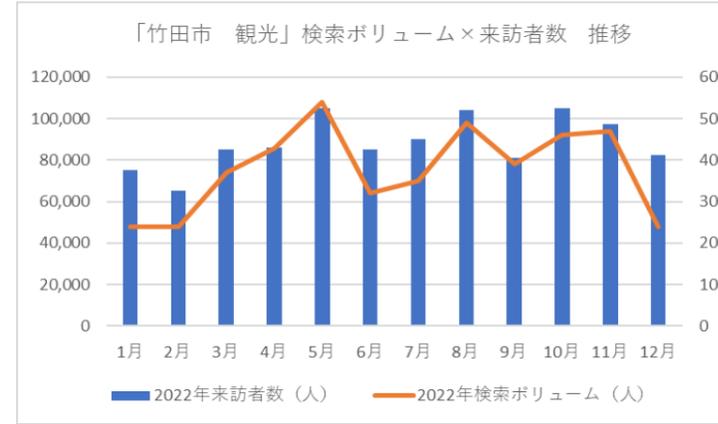
長湯温泉



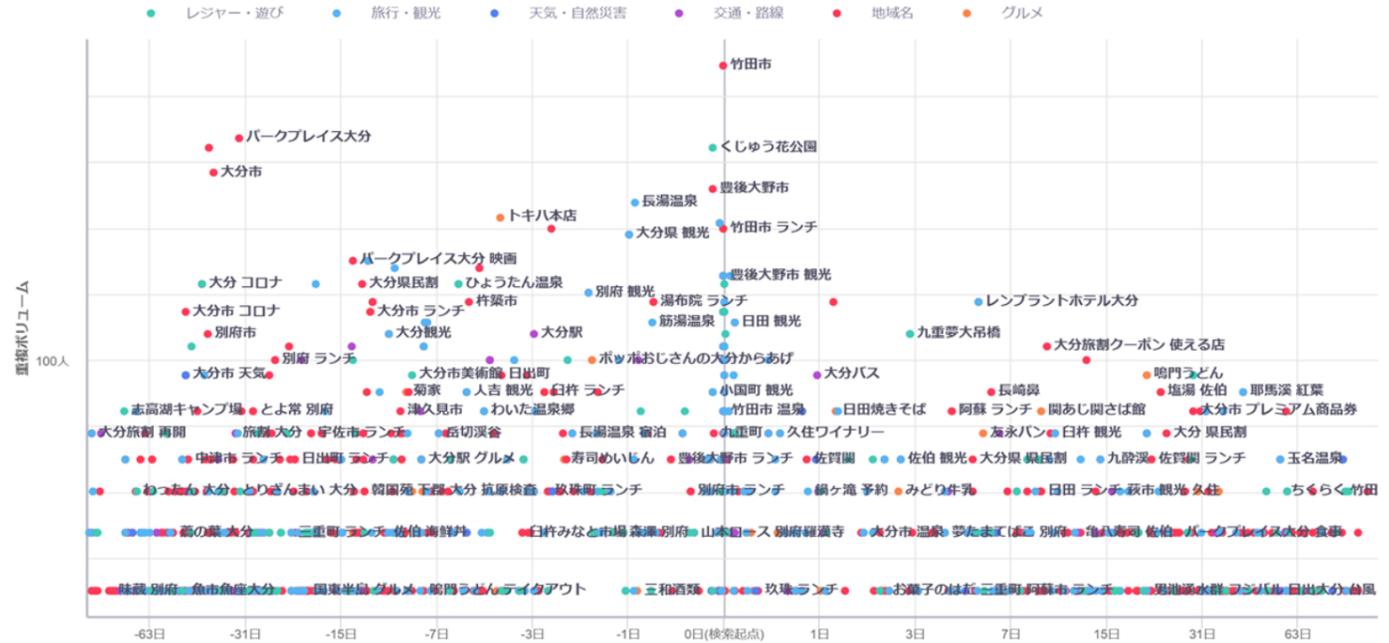
来訪元	割合
1 大分県	49.83%
2 福岡県	17.34%
3 熊本県	7.63%
4 宮崎県	3.05%
5 東京都	2.07%
6 長崎県	1.86%
7 佐賀県	1.65%
8 大阪府	1.57%
9 山口県	1.53%
10 神奈川県	1.41%

● 竹田市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「竹田市 観光」を検索した人の時系列キーワード



「竹田市 観光」の検索ボリューム：4,300

【抽出条件】

期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360

※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

竹田市の来訪者の属性をみると、50代以降の高齢層や男性の来訪者が特に多く、「竹田市 観光」の検索者も比較的高齢層が多いのが特徴的である。また、隣接する熊本県をはじめ県外からの来訪も多く、観光スポット単位では東京都や大阪府なども遠方からの来訪も多く見られる。

県域版カルテの併用割合をみると熊本空港利用者の来訪も多く、県境の熊本県と連携した滞在コンテンツの拡充やプロモーションなども効果的だと考えられる。

「九重 観光」都道府県別検索者ボリューム

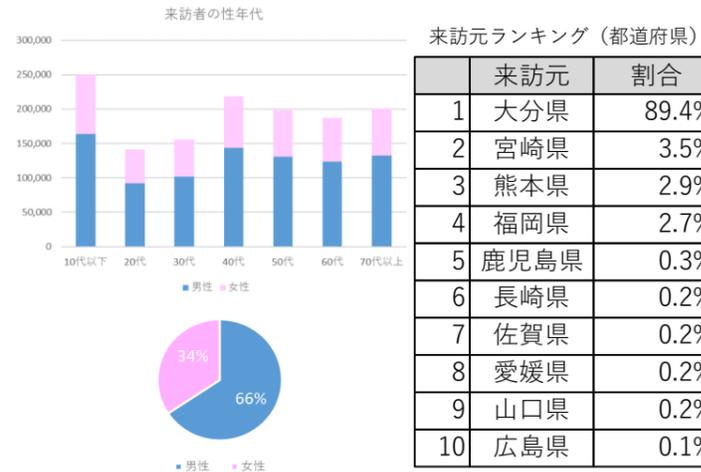
都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	620	5
2 福岡県	420	5
3 東京都	270	0.5
4 大阪府	270	2
5 熊本県	180	5
6 愛知県	170	1.5
7 神奈川県	100	0.5
8 宮崎県	70	5
9 埼玉県	60	0
10 千葉県	60	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したのとなります。

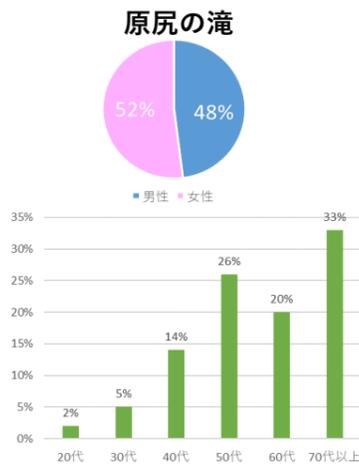
豊後大野市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

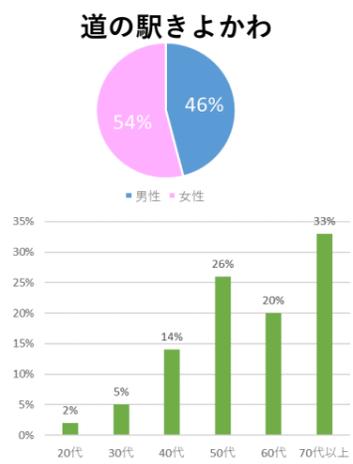
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	104,700	96,700	113,500	110,200	118,600	107,800	110,700	118,500	104,600	125,200	121,000	118,900	1,350,400
前年来訪者数 (人)	106,600	104,300	119,600	115,500	112,700	111,300	121,100	115,200	111,000	118,700	119,000	112,900	1,367,900
前年比 (%)	98.2%	92.7%	94.9%	95.4%	105.2%	96.9%	91.4%	102.9%	94.2%	105.5%	101.7%	105.3%	98.7%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：Datawise Area Marketer

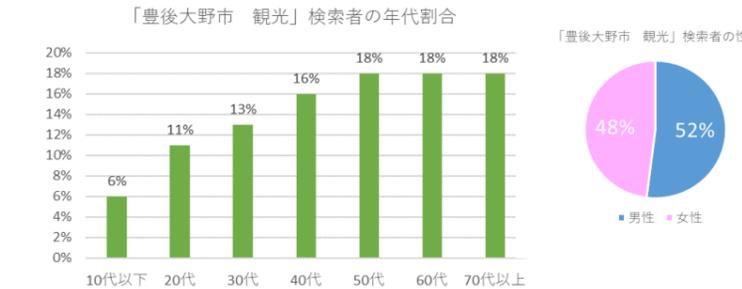
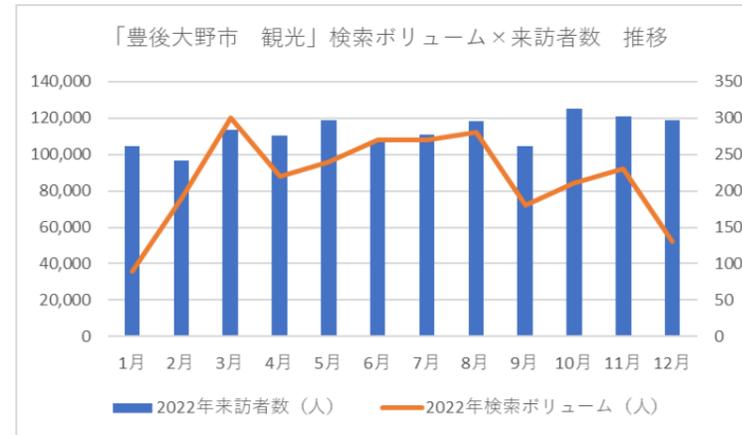


来訪元	割合
1 大分県	47.05%
2 福岡県	15.80%
3 熊本県	8.39%
4 宮崎県	4.41%
5 東京都	2.22%
6 長崎県	2.06%
7 山口県	2.06%
8 大阪府	1.98%
9 佐賀県	1.77%
10 千葉県	1.63%



来訪元	割合
1 大分県	47.05%
2 福岡県	15.80%
3 熊本県	8.39%
4 宮崎県	4.41%
5 東京都	2.22%
6 長崎県	2.06%
7 山口県	2.06%
8 大阪府	1.98%
9 佐賀県	1.77%
10 千葉県	1.63%

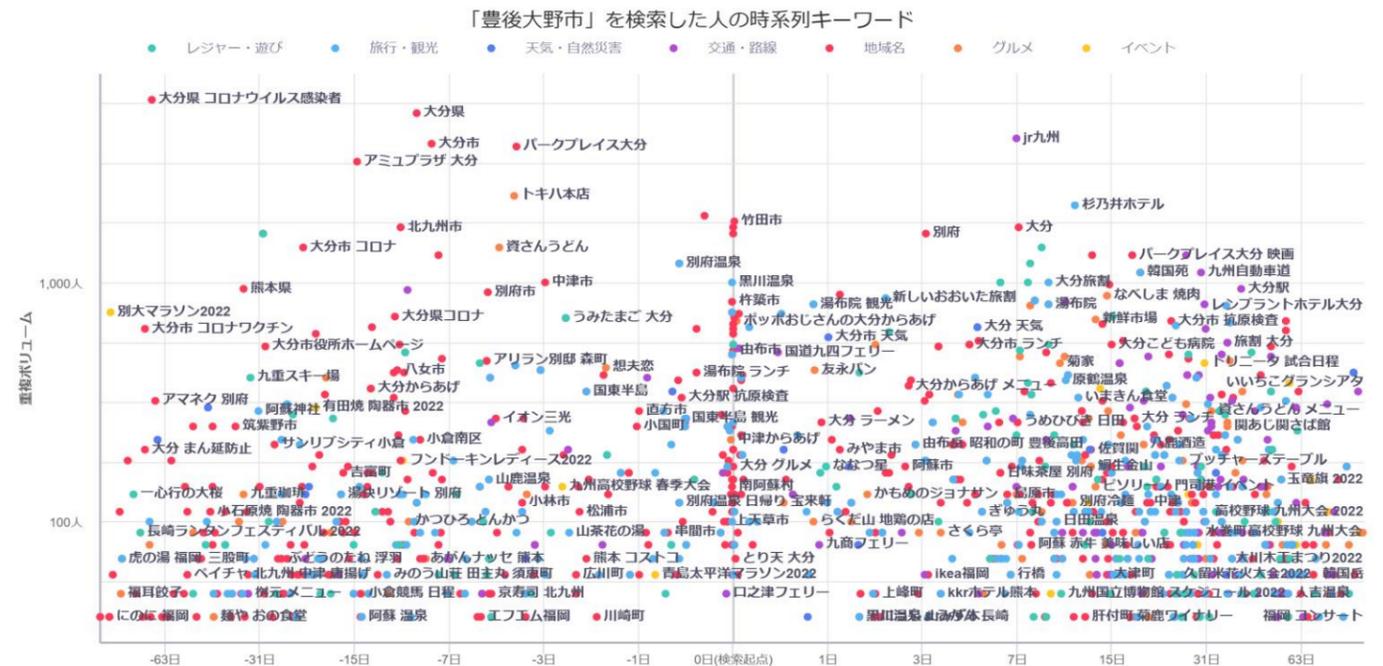
● 豊後大野市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「豊後大野市 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	430	5
2 東京都	190	0.5
3 福岡県	190	5
4 大阪府	130	2
5 愛知県	110	1.5
6 千葉県	60	1.5
7 兵庫県	60	2
8 熊本県	60	5
9 神奈川県	50	0.5
10 埼玉県	40	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。



「豊後大野市」の検索ボリューム：28,000
 【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

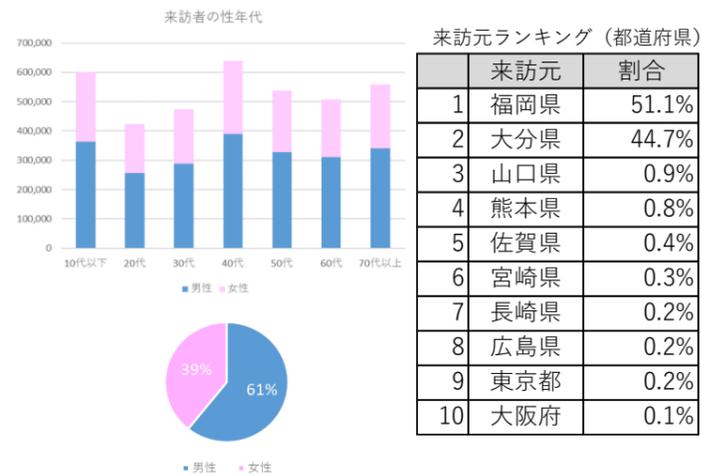
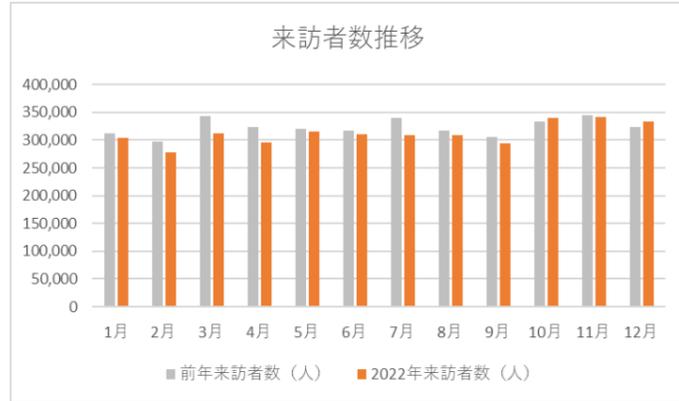
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

豊後大野市の来訪者は特に男性が多い傾向にあるが、道の駅の来訪者は半数以上が女性、特に高齢層が多い傾向にある。県域版カルテの併用割合をみると、隣接する竹田市や大分市、臼杵市との周遊もみられることから車で移動が多いと予想される。車で移動を考慮すると、たとえばサウナなどを目指して訪れる若年層や男性客へも響くようなコンテンツなど、広域でも観光コンテンツを充実させることにより、市内での滞在時間の延長や消費の拡大に繋がり、来訪者の満足度向上にも繋がると考えられる。

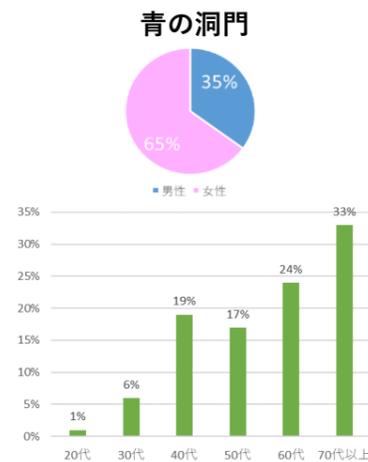
中津市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

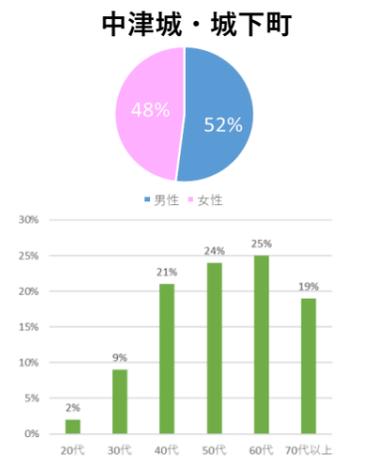
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	304,500	277,900	312,000	295,100	315,800	311,100	308,500	308,800	293,900	339,700	341,200	333,100	3,741,600
前年来訪者数 (人)	311,800	296,700	342,800	323,400	319,500	317,300	339,600	317,700	305,600	333,700	343,900	324,200	3,876,200
前年比 (%)	97.7%	93.7%	91.0%	91.2%	98.8%	98.0%	90.8%	97.2%	96.2%	101.8%	99.2%	102.7%	96.5%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：Datawise Area Marketer

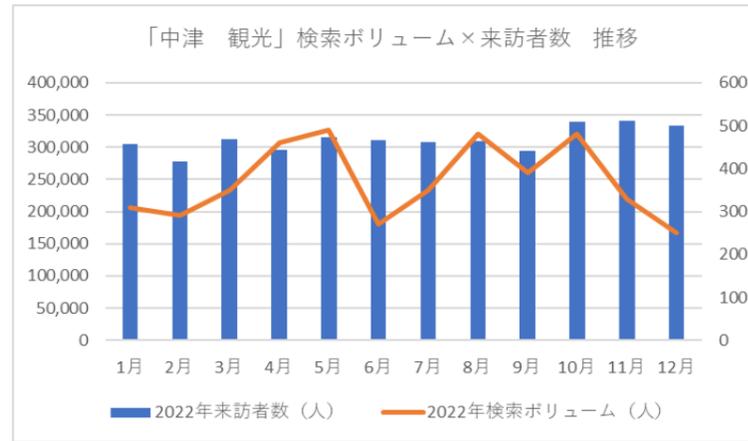


来訪元	割合
1 大分県	37.78%
2 福岡県	37.15%
3 山口県	3.51%
4 佐賀県	2.38%
5 大阪府	2.16%
6 熊本県	2.04%
7 長崎県	1.85%
8 神奈川県	1.44%
9 兵庫県	1.28%
10 東京都	1.27%



来訪元	割合
1 大分県	55.90%
2 福岡県	27.12%
3 大阪府	1.57%
4 山口県	1.14%
5 東京都	1.07%
6 熊本県	1.03%
7 神奈川県	0.98%
8 兵庫県	0.76%
9 愛知県	0.69%
10 広島県	0.66%

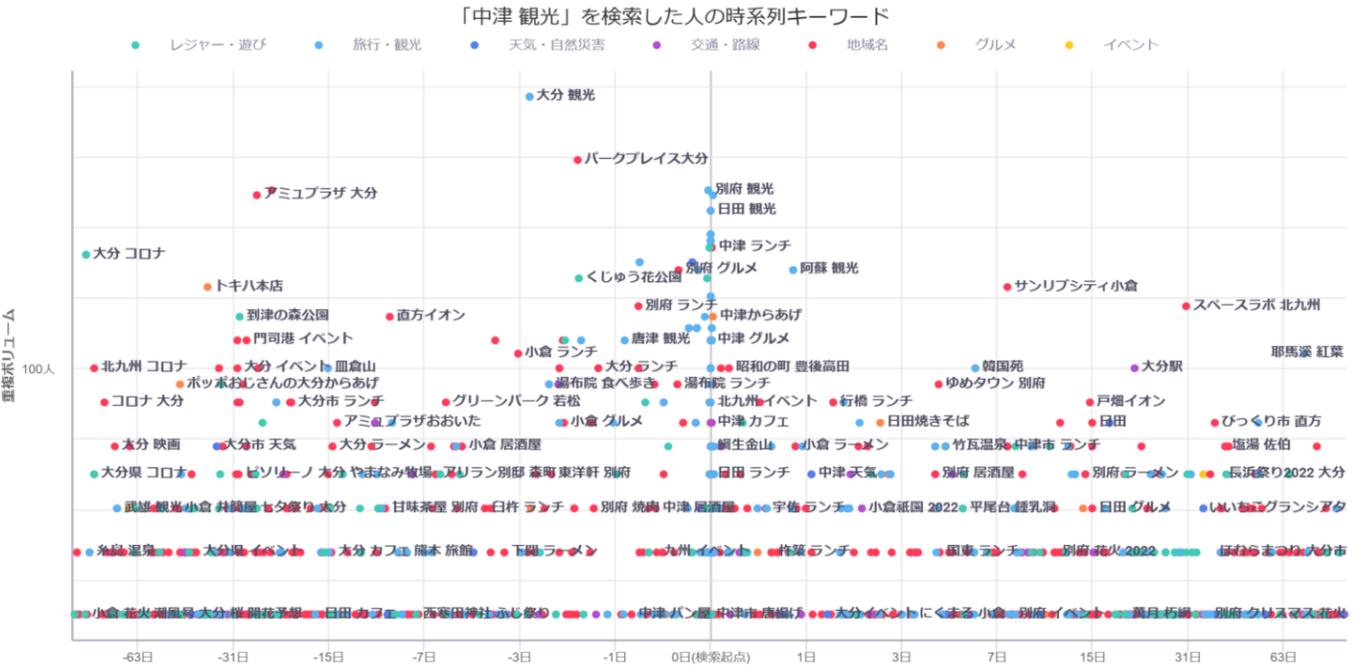
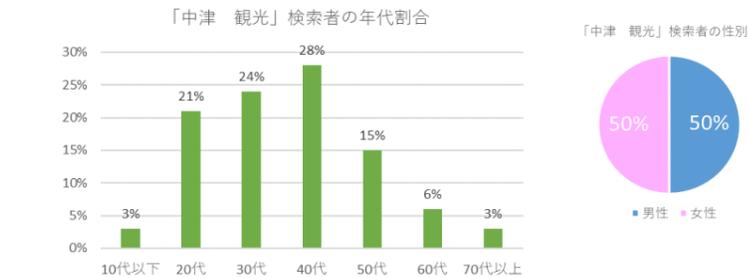
● 中津市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月) 出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「中津 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 福岡県	580	5
2 大分県	350	5
3 東京都	310	1
4 大阪府	270	3
5 愛知県	160	1.5
6 神奈川県	80	0.5
7 埼玉県	70	0.5
8 兵庫県	70	1.5
9 千葉県	60	1
10 山口県	60	5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



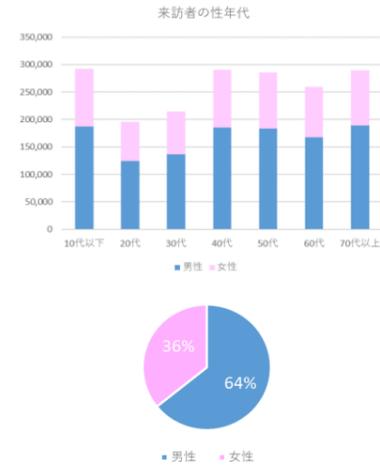
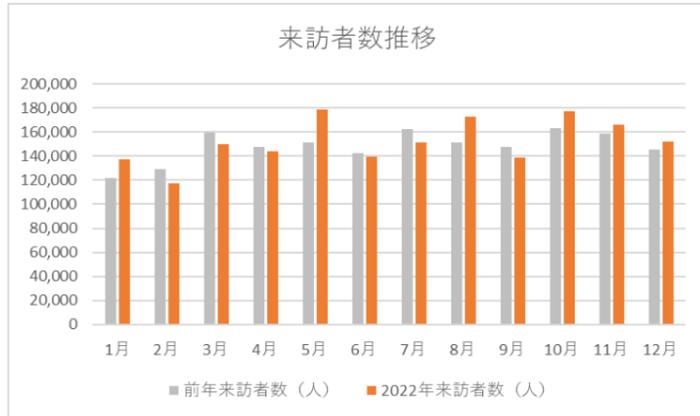
中津市の来訪者は、特に40代～50代の男性が多く、年間の来訪者数推移も安定していることなどからビジネス客の来訪が多いことがうかがえる。また、隣接する福岡県からの来訪者が半数以上を占めているほか、山口県からの来訪も多いため中国方面へ向けたプロモーションも有効だと考えられる。各観光スポットの来訪者は比較的高齢層が多いが、「中津 観光」検索者は20代～40代が多い傾向にある。たとえば若年層が中津への旅行検討時に選んでもらえるよう、ターゲットとなる人々に刺さるような観光コンテンツの拡充や情報発信も有効ではないかと考えられる。

日田市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	137,000	117,700	149,800	143,700	178,900	139,300	151,500	172,700	139,000	177,500	166,000	152,100	1,825,200
前年来訪者数 (人)	122,100	128,900	159,200	147,600	151,200	142,500	162,600	151,000	147,400	163,500	159,100	145,600	1,780,700
前年比 (%)	112.2%	91.3%	94.1%	97.4%	118.3%	97.8%	93.2%	114.4%	94.3%	108.6%	104.3%	104.5%	102.5%

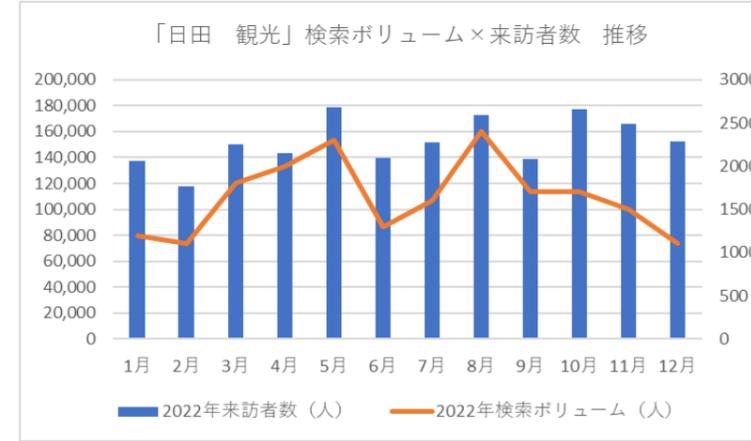


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 福岡県	52.2%
2 大分県	32.0%
3 熊本県	6.4%
4 佐賀県	3.4%
5 長崎県	1.5%
6 宮崎県	0.8%
7 山口県	0.8%
8 鹿児島県	0.6%
9 東京都	0.5%
10 広島県	0.2%

● 日田市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

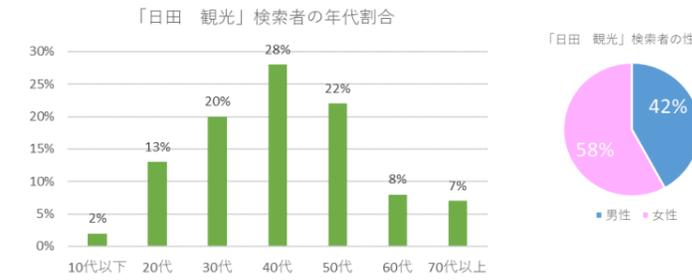
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「日田 観光」都道府県別検索者ボリューム

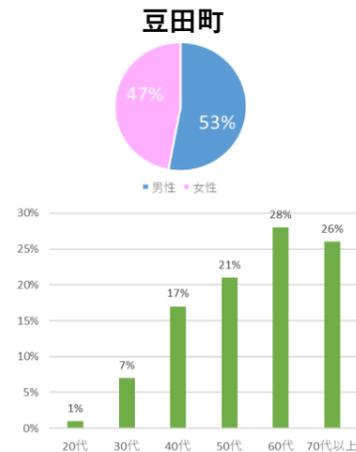
都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 福岡県	3100	5
2 東京都	1300	0.5
3 大阪府	1100	2.5
4 大分県	1100	5
5 愛知県	970	2.5
6 熊本県	370	5
7 埼玉県	330	0.5
8 神奈川県	320	0.5
9 兵庫県	280	1.5
10 千葉県	250	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。

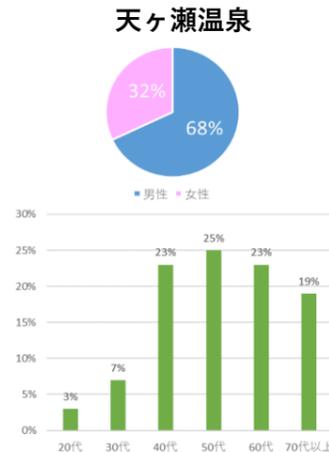


● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

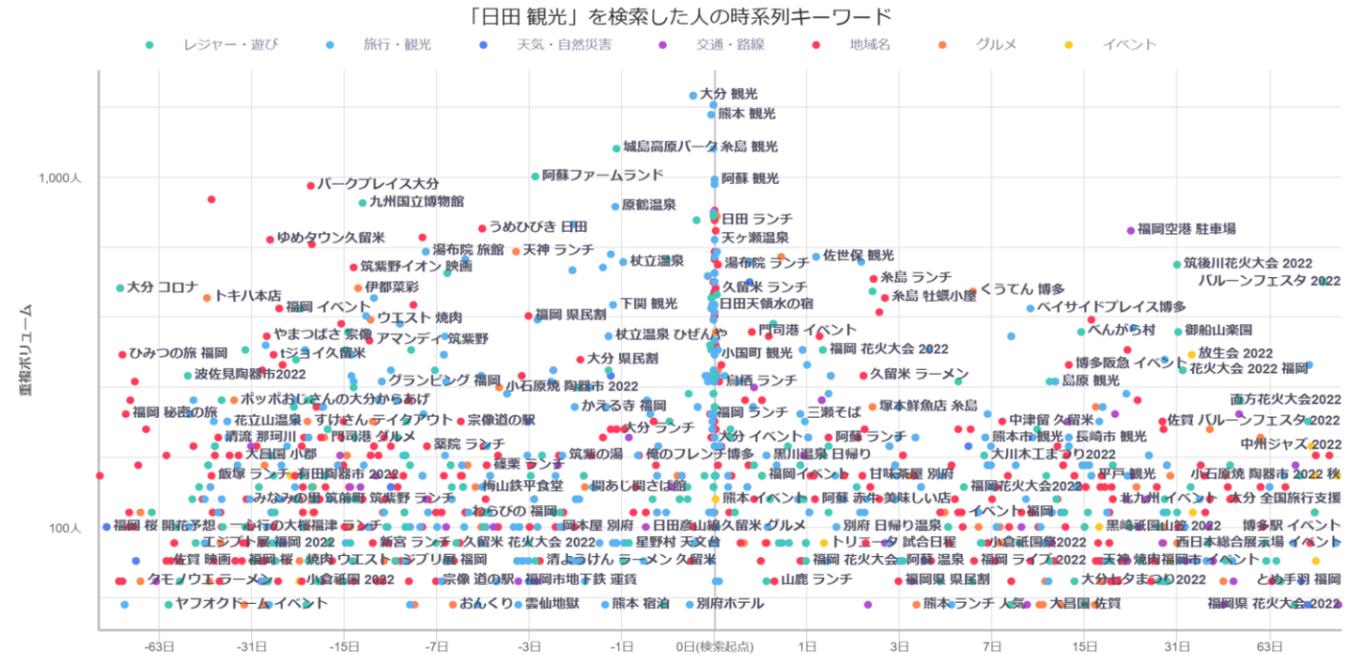
出典：Datawise Area Marketer



来訪元	割合
1 大分県	43.79%
2 福岡県	34.48%
3 熊本県	3.55%
4 佐賀県	2.73%
5 長崎県	2.31%
6 大阪府	1.22%
7 東京都	1.20%
8 山口県	1.13%
9 愛知県	0.89%
10 千葉県	0.77%



来訪元	割合
1 福岡県	38.70%
2 大分県	38.53%
3 佐賀県	5.05%
4 熊本県	3.72%
5 長崎県	1.85%
6 東京都	1.45%
7 山口県	1.23%
8 大阪府	1.08%
9 神奈川県	0.75%
10 宮崎県	0.69%



「日田 観光」の検索ボリューム: 18,900

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

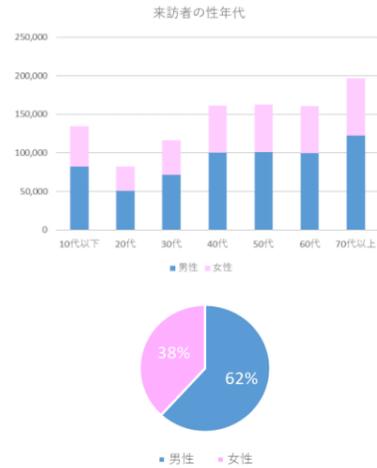
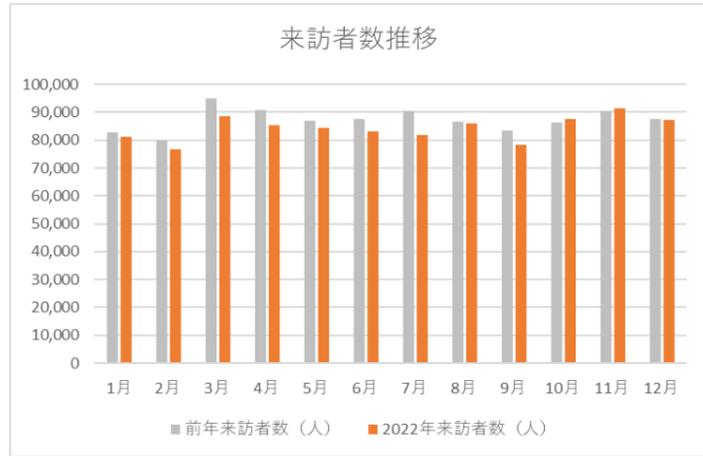
日田市の来訪者の属性をみると、40代以降の中高齢層、男性の来訪が多い傾向にある。隣接する福岡県からの来訪が半数以上を占めており、福岡空港との併用割合も高い。「日田 観光」と同時に福岡県や熊本県の他エリアも検索されていることなどから、福岡県在住者や福岡空港を利用して九州旅行を検討している人に選んでもらえるよう、福岡からの訪問ルートなどを含めた情報発信を強化することにより更なる来訪に繋がるのではないだろうか。

豊後高田市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	81,100	76,600	88,700	85,300	84,300	83,100	82,000	86,000	78,200	87,700	91,300	87,200	1,011,500
前年来訪者数 (人)	82,900	80,000	95,000	90,900	86,900	87,600	90,600	86,600	83,600	86,300	90,600	87,700	1,048,700
前年比 (%)	97.8%	95.8%	93.4%	93.8%	97.0%	94.9%	90.5%	99.3%	93.5%	101.6%	100.8%	99.4%	96.5%



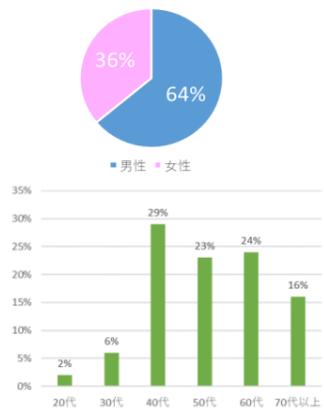
来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	90.3%
2 福岡県	7.8%
3 山口県	0.4%
4 熊本県	0.4%
5 宮崎県	0.2%
6 長崎県	0.2%
7 佐賀県	0.1%
8 鹿児島県	0.1%
9 広島県	0.1%
10 東京都	0.1%

● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

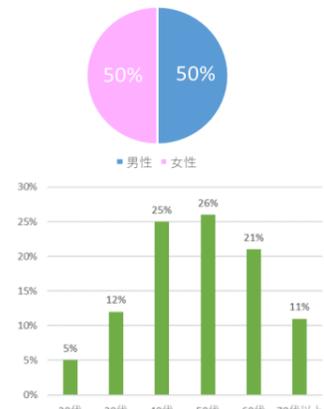
出典：Datawise Area Marketer

昭和の町



来訪元	割合
1 大分県	59.13%
2 福岡県	20.10%
3 山口県	2.11%
4 大阪府	2.02%
5 熊本県	1.79%
6 神奈川県	1.51%
7 東京都	1.36%
8 長崎県	1.27%
9 佐賀県	1.02%
10 宮崎県	0.93%

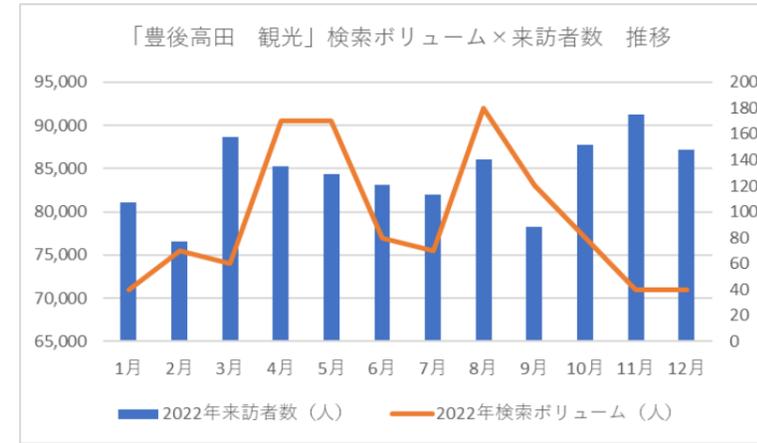
真玉海岸



来訪元	割合
1 大分県	71.36%
2 福岡県	14.09%
3 佐賀県	1.59%
4 熊本県	1.24%
5 大阪府	1.19%
6 山口県	1.19%
7 広島県	1.17%
8 岡山県	0.77%
9 愛知県	0.69%
10 長崎県	0.57%

● 豊後高田市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

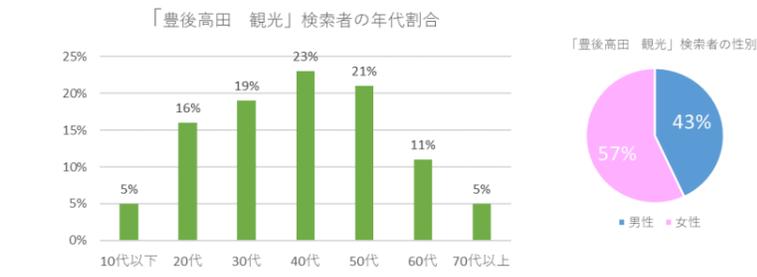
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「豊後高田 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	140	5
2 福岡県	110	5
3 東京都	80	1
4 大阪府	60	2
5 愛知県	40	1.5
6 神奈川県	30	1
7 北海道	20	0.5
8 埼玉県	20	1
9 兵庫県	20	2
10 千葉県	10	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものと なります。



「豊後高田」を検索した人の時系列キーワード



「豊後高田」の検索ボリューム：4,800
 【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

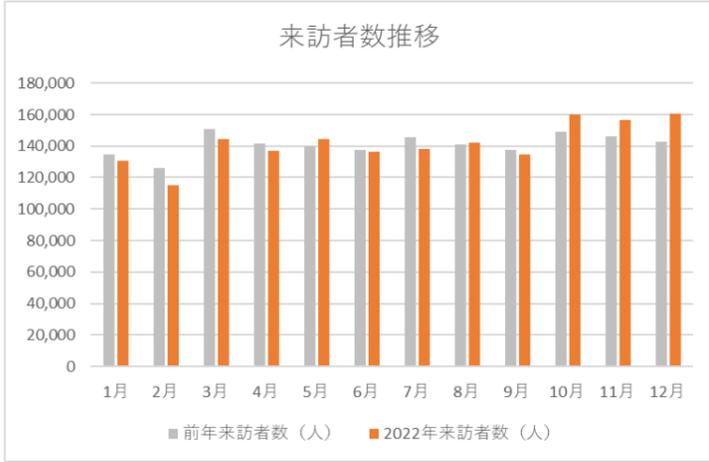
豊後高田市の来訪者は、全体・昭和の町の来訪者ともに40代以降の男性が多い傾向にある。一方、「豊後高田 観光」を検索した人は20代～50代の女性が多く、前後にアフリカンサファリやうみたまご、ハーモニーランドなどのレジャー施設の検索が多いことから、ファミリーの旅行検討者が多いことも推測できる。ただし、実来訪者は比較的高年齢層の割合が多く、ファミリー層をターゲットに滞在コンテンツの拡充や情報発信を強化することなども効果的ではないだろうか。

杵築市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	130,900	114,900	144,300	137,200	144,300	136,200	138,100	142,000	134,500	160,200	156,600	160,400	1,699,600
前年来訪者数 (人)	134,700	125,900	150,600	141,700	139,800	137,400	145,800	141,100	137,800	149,100	146,200	142,700	1,692,800
前年比 (%)	97.2%	91.3%	95.8%	96.8%	103.2%	99.1%	94.7%	100.6%	97.6%	107.4%	107.1%	112.4%	100.4%

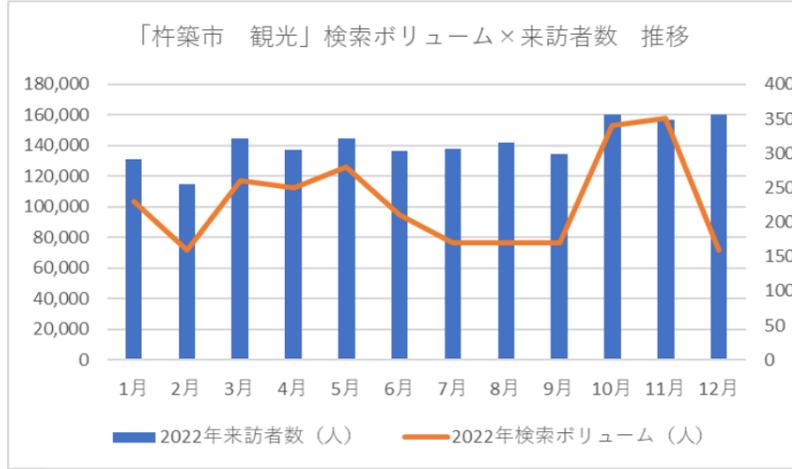


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	89.5%
2 福岡県	6.8%
3 山口県	0.7%
4 宮崎県	0.6%
5 熊本県	0.4%
6 東京都	0.4%
7 佐賀県	0.2%
8 長崎県	0.2%
9 広島県	0.2%
10 鹿児島県	0.2%

● 杵築市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

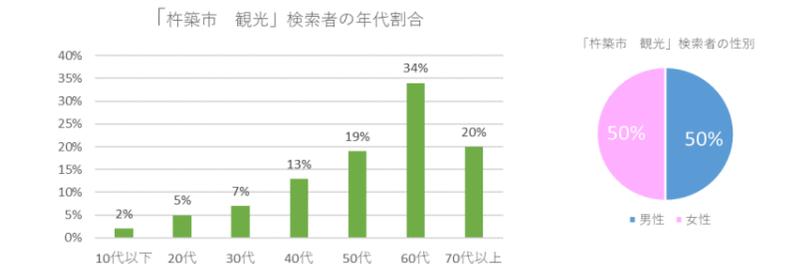
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「杵築市 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	380	5
2 福岡県	240	5
3 東京都	200	0.5
4 大阪府	180	2
5 愛知県	120	1.5
6 神奈川県	70	1.5
7 埼玉県	70	1
8 千葉県	70	1.5
9 兵庫県	50	2
10 熊本県	40	5

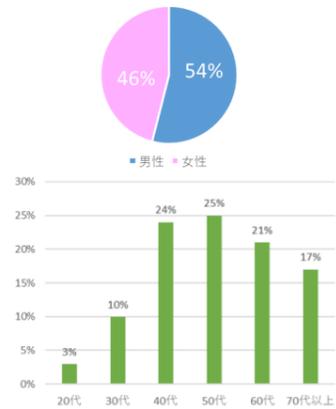
※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

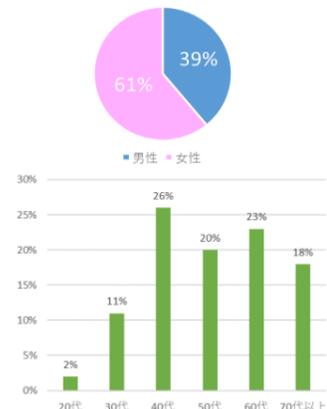
出典：Datawise Area Marketer

杵築城下町

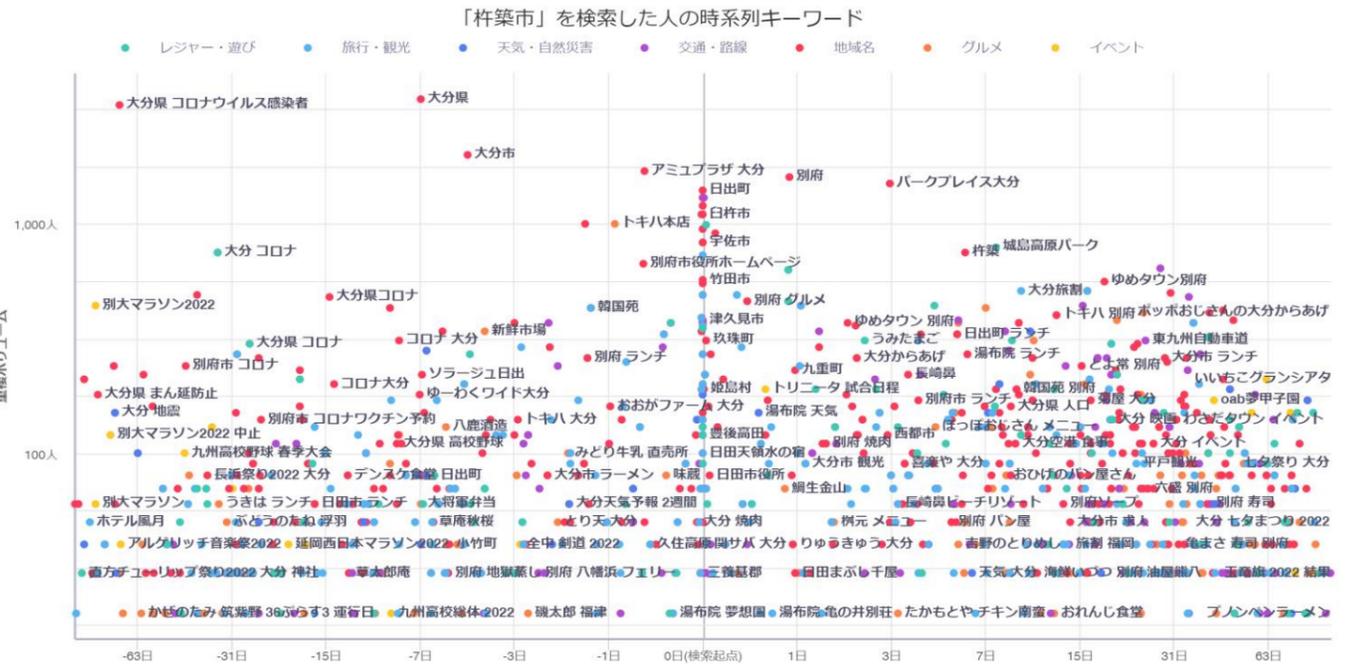


来訪元	割合
1 大分県	75.73%
2 福岡県	6.18%
3 東京都	1.25%
4 熊本県	1.22%
5 大阪府	1.18%
6 神奈川県	0.90%
7 長崎県	0.60%
8 千葉県	0.60%
9 兵庫県	0.55%
10 佐賀県	0.53%

るるパーク



来訪元	割合
1 大分県	75.94%
2 福岡県	14.43%
3 山口県	1.27%
4 宮崎県	0.94%
5 熊本県	0.90%
6 長崎県	0.65%
7 佐賀県	0.61%
8 東京都	0.56%
9 兵庫県	0.44%
10 神奈川県	0.38%



「杵築市」の検索ボリューム: 20,000

抽出条件:
 期間: 2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム: 1,000～100,000,000 / 重複ボリューム: 10～10,000,000 / 関連度: 1.3～10 / 検索時間差: -360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

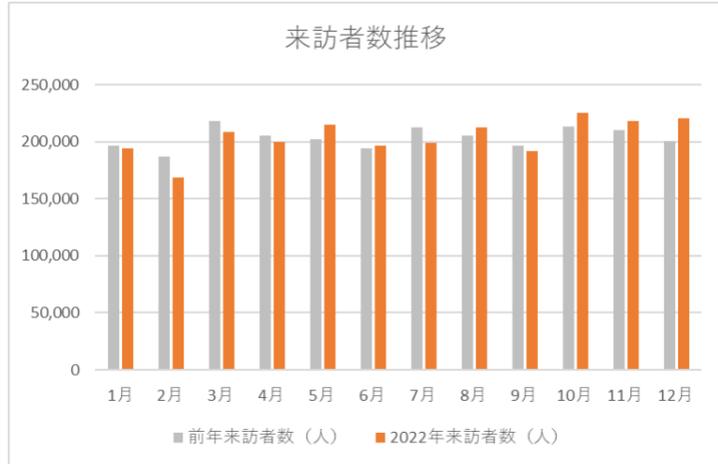
杵築市の来訪者は、特に40代～50代の男性客が多い傾向にある。東京など関東・関西方面からの来訪者も多く、県域版カルテの併用割合をみても大分空港との併用が多いことなどから、大分空港を利用したビジネス客の来訪が多いことが推測される。「杵築市 観光」の検索者も50～60代の検索が多いことなどから、中高年齢層に響くコンテンツの造成や、空港利用者に向けた立ち寄り促す滞在プランなどを検討してみることも、更なる来訪や消費額の増加に繋がるのではないだろうか。

宇佐市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	193,900	168,400	208,700	199,900	215,200	196,400	199,000	212,300	191,700	225,500	218,400	221,000	2,450,400
前年来訪者数 (人)	196,800	187,000	218,400	205,500	202,500	194,400	212,800	205,300	196,900	213,800	210,000	200,500	2,443,900
前年比 (%)	98.5%	90.1%	95.6%	97.3%	106.3%	101.0%	93.5%	103.4%	97.4%	105.5%	104.0%	110.2%	100.3%

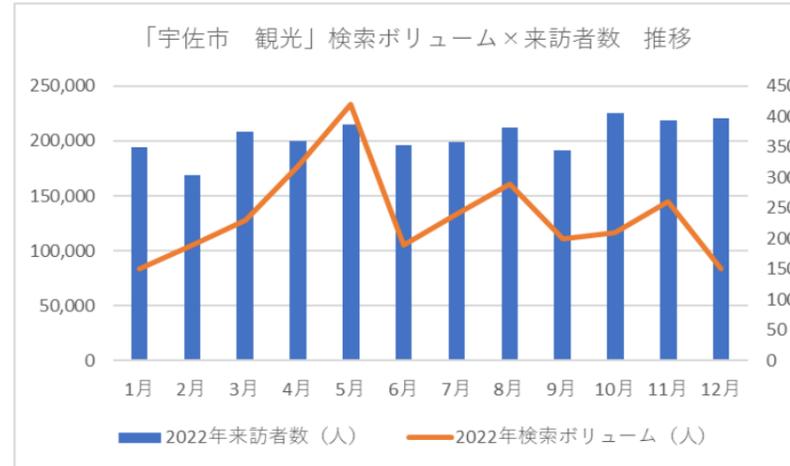


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	77.8%
2 福岡県	16.8%
3 山口県	1.1%
4 熊本県	0.8%
5 宮崎県	0.7%
6 佐賀県	0.4%
7 広島県	0.4%
8 長崎県	0.3%
9 鹿児島県	0.3%
10 東京都	0.2%

● 宇佐市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

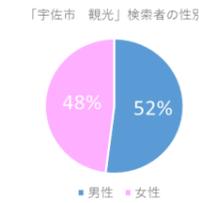
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「杵築市 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	370	5
2 福岡県	270	5
3 東京都	180	0.5
4 大阪府	180	2.5
5 愛知県	90	1.5
6 埼玉県	50	0.5
7 千葉県	50	1
8 広島県	50	3
9 神奈川県	40	0.5
10 静岡県	40	1

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：Datawise Area Marketer



「宇佐市 観光」の検索ボリューム：2,700
 【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

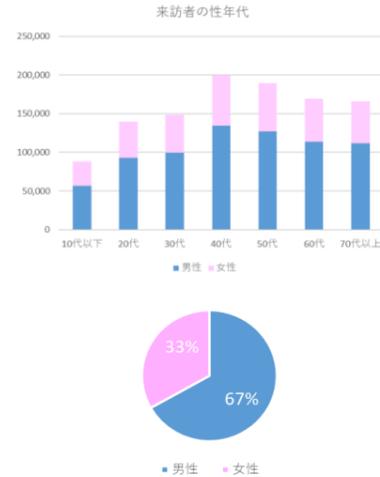
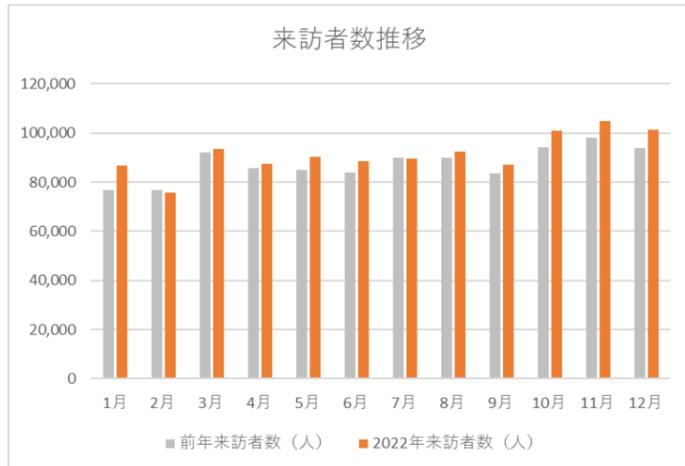
宇佐神宮やアフリカンサファリ、酒造文化体験など様々な観光コンテンツを有する宇佐市は、スポットによって多様な層の来訪が見られる。主要観光スポットへは福岡県をはじめ九州内からの来訪が多いが、山口県・広島県などからの来訪者検索も見られるため、中国地方へのプロモーションを強化することも有効であると考えられる。県域版カルテの併用割合をみると、県内他地域との併用も比較的多く見られるため、他エリアと連携した滞在コンテンツの検討やプロモーションを行うことにより、更なる滞在時間延長や消費拡大に繋がるのではないだろうか。

国東市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	86,700	75,900	93,600	87,500	90,200	88,500	89,700	92,500	86,980	101,000	104,900	101,100	1,098,580
前年来訪者数 (人)	76,800	76,800	92,000	85,600	84,800	83,900	89,800	89,900	83,600	94,200	98,100	93,900	1,049,400
前年比 (%)	112.9%	98.8%	101.7%	102.2%	106.4%	105.5%	99.9%	102.9%	104.0%	107.2%	106.9%	107.7%	104.7%

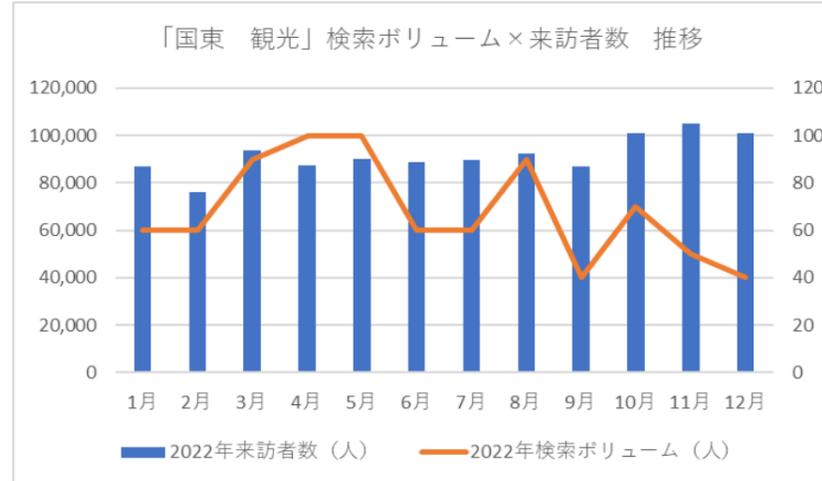


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	88.3%
2 東京都	3.4%
3 福岡県	3.1%
4 神奈川県	0.9%
5 千葉県	0.8%
6 熊本県	0.5%
7 大阪府	0.4%
8 宮崎県	0.3%
9 埼玉県	0.3%
10 長崎県	0.3%

● 国東市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

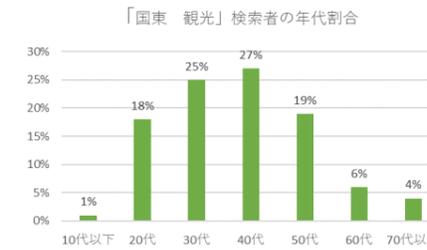
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「国東市 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	170	5
2 福岡県	70	5
3 東京都	60	0.5
4 愛知県	40	1.5
5 大阪府	40	1.5
6 神奈川県	20	1
7 千葉県	10	2
8 岐阜県	10	1.5
9 静岡県	10	1.5
10 広島県	10	1

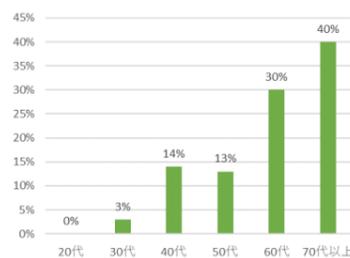
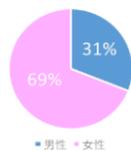
※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

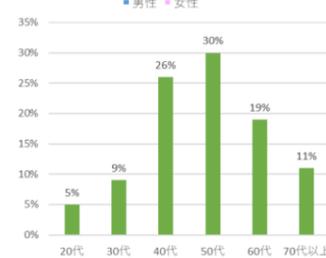
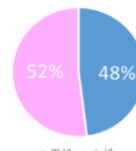
出典：Datawise Area Marketer

両子寺

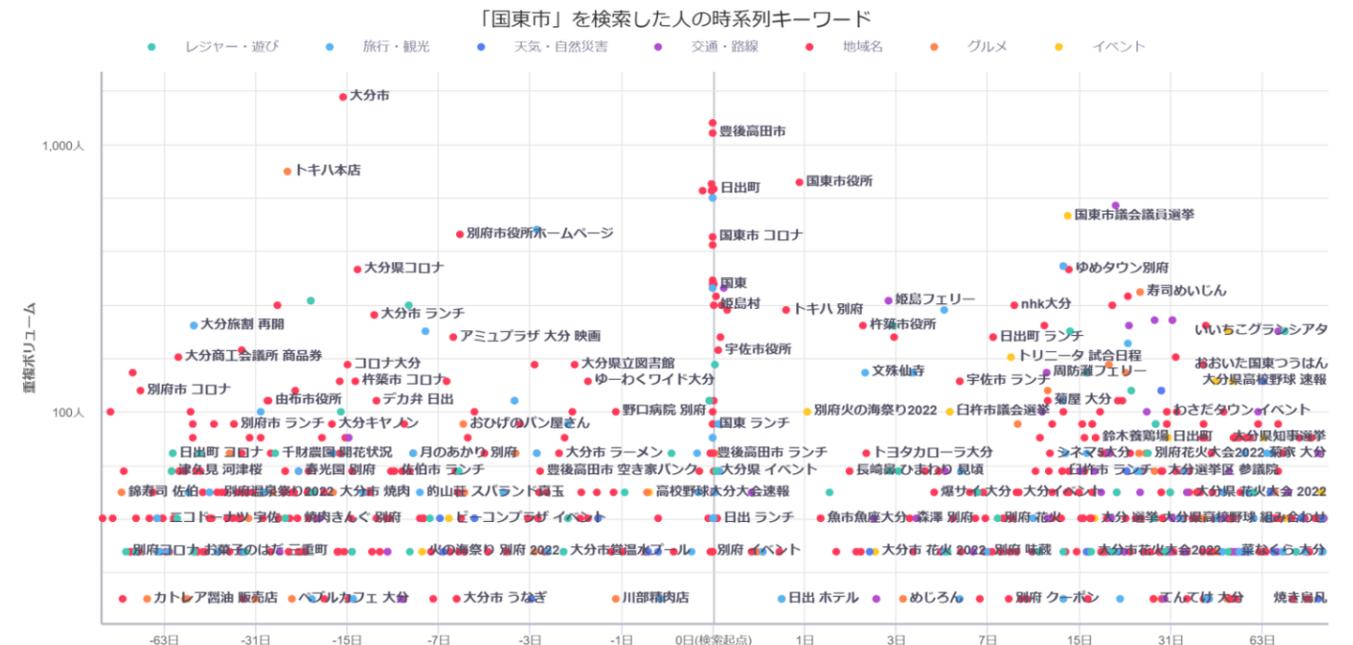


来訪元	割合
1 大分県	50.89%
2 福岡県	19.08%
3 神奈川県	3.57%
4 東京都	3.38%
5 千葉県	3.06%
6 大阪府	2.34%
7 愛知県	2.24%
8 山口県	1.76%
9 鹿児島県	1.57%
10 埼玉県	1.32%

大分空港



来訪元	割合
1 大分県	37.05%
2 東京都	17.87%
3 神奈川県	8.60%
4 千葉県	5.84%
5 大阪府	5.72%
6 埼玉県	4.41%
7 兵庫県	2.23%
8 愛知県	1.73%
9 福岡県	1.70%
10 茨城県	1.24%



「国東市」の検索ボリューム: 13,600

【抽出条件】
 期間: 2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム: 1,000～100,000,000 / 重複ボリューム: 10～10,000,000 / 関連度: 1.3～10 / 検索時間差: -360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

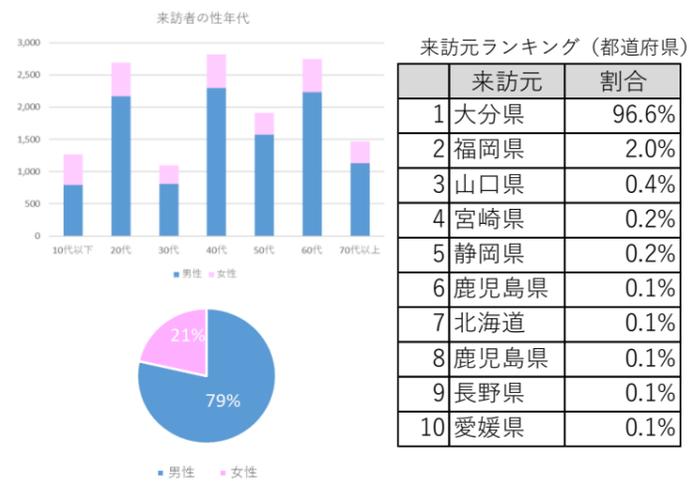
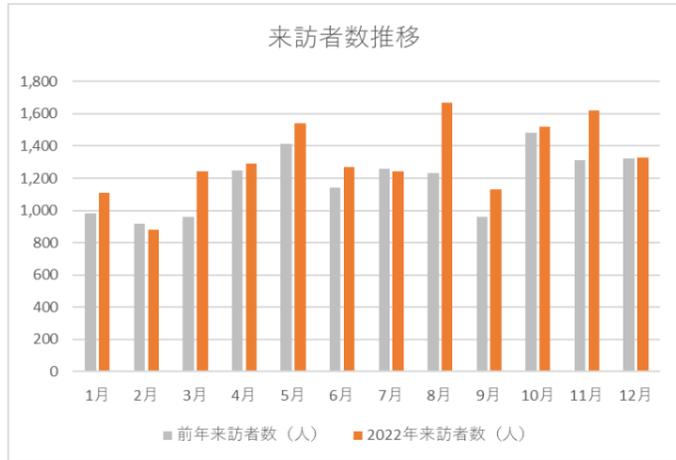
大分空港を有する国東市は、40～50代の男性の来訪が多く、ビジネス客の利用も多いことなどから年間を通して来訪者数は安定している。一方、「国東 観光」の検索者数は3月～5月に特に多く、観光目的での来訪者は春頃に多いことが推測される。主要観光スポットの来訪者は比較的高齢層が多いものの、「国東 観光」の検索者は20代～40代の若年層・ファミリー層も多いことなどから、国東の観光を検討している旅行者に対して魅力的な観光情報を確実に届けられるようにすることにより実来訪に繋がり、更なる消費の拡大や滞在者の満足度向上にもつながるのではないだろうか。

姫島村

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

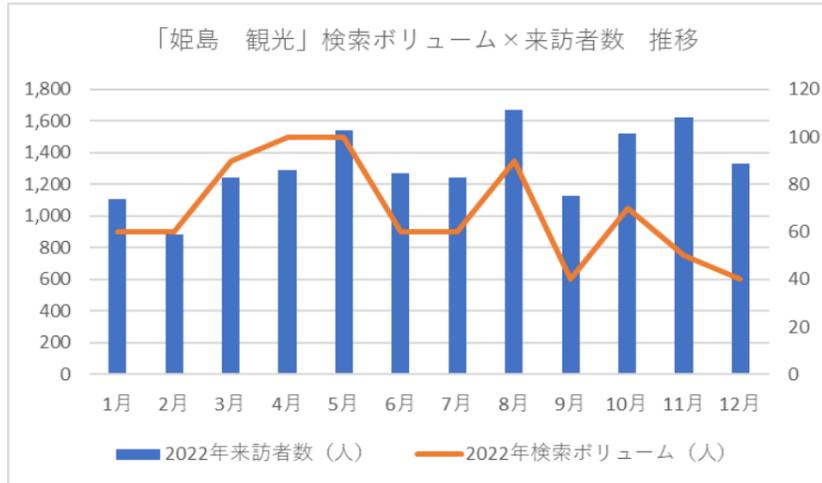
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	1,110	880	1,240	1,290	1,540	1,270	1,240	1,670	1,130	1,520	1,620	1,330	15,840
前年来訪者数 (人)	980	920	960	1,250	1,410	1,140	1,260	1,230	960	1,480	1,310	1,320	14,220
前年比 (%)	113.3%	95.7%	129.2%	103.2%	109.2%	111.4%	98.4%	135.8%	117.7%	102.7%	123.7%	100.8%	111.4%



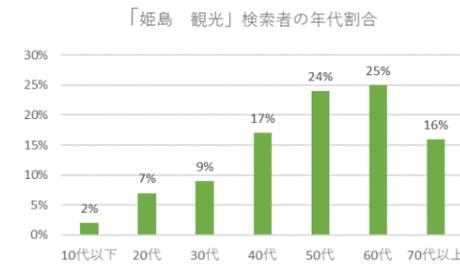
● 姫島村に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「姫島 観光」都道府県別検索者ボリューム

都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	410	5
2 東京都	200	1
3 福岡県	190	5
4 大阪府	140	2
5 愛知県	100	1.5
6 神奈川県	50	0.5
7 埼玉県	50	1
8 兵庫県	50	2.5
9 千葉県	40	1
10 山口県	40	5

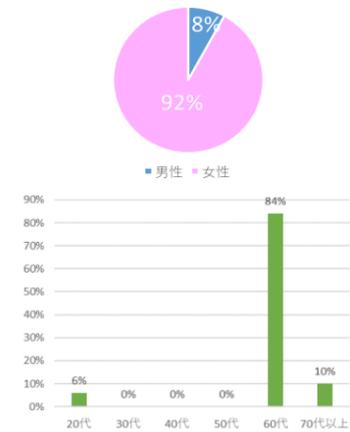


※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。

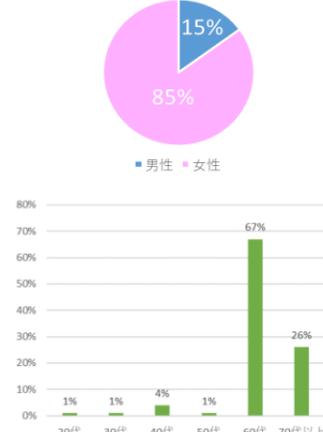
● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：Datawise Area Marketer

姫島みつけ海岸 (アサギマダラ休息地)

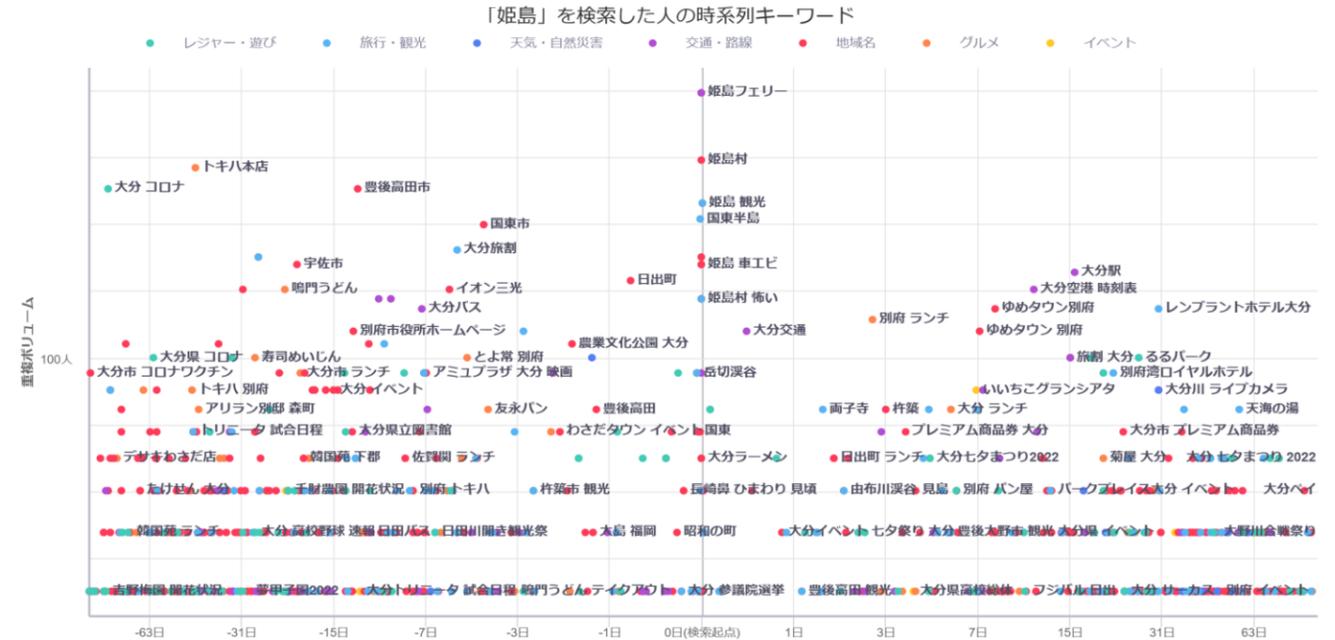


姫島海水浴場



【来訪元ランキング】
検出データポイント数不足により、匿名化処理の結果表示できません

来訪元	割合
1 大分県	84.60%
2 埼玉県	6.08%
3 奈良県	4.01%
4 東京都	2.65%



出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

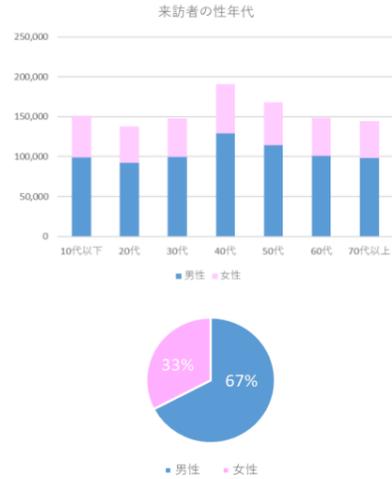
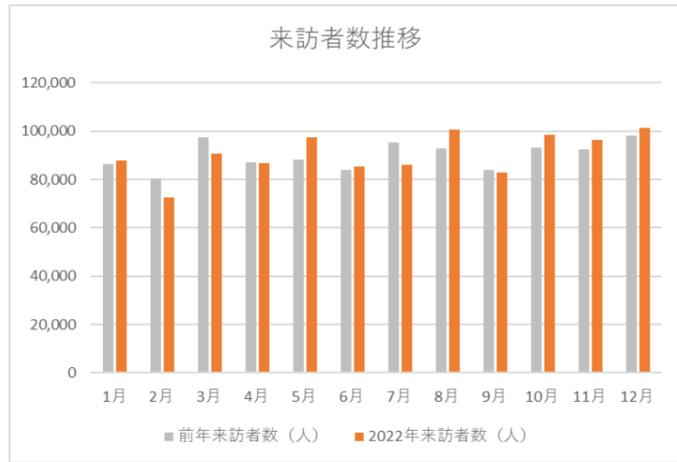
姫島村の来訪者は、圧倒的に大分県からの男性客が多く、ビジネスでの来訪が多くを占めていると推測できる。一方、来訪者数は8月の海水浴シーズンに特に多いものの、「姫島 観光」に関する検索は4月・5月の春先にも多い傾向にある。各観光スポット毎の来訪ボリュームは少ないため、サンプル数不足により偏ったデータになっている。来訪者の少ないエリアではアンケート調査などの定性調査などと掛け合わせるによりより有効なデータが得られると考えられる。

佐伯市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	87,900	72,600	90,700	86,700	97,200	85,400	86,100	100,400	82,800	98,400	96,200	101,400	1,085,800
前年来訪者数 (人)	86,200	80,500	97,300	87,100	88,100	84,000	95,300	92,700	84,000	93,000	92,500	98,200	1,078,900
前年比 (%)	102.0%	90.2%	93.2%	99.5%	110.3%	101.7%	90.3%	108.3%	98.6%	105.8%	104.0%	103.3%	100.6%

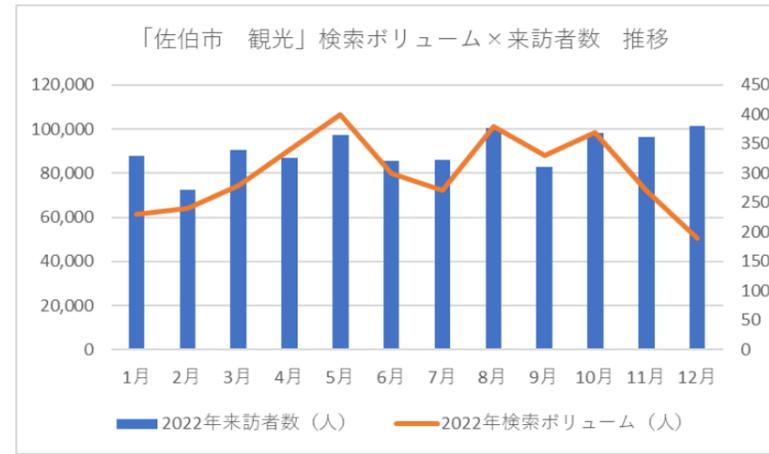


来訪元ランキング (都道府県)

来訪元	割合
1 大分県	73.8%
2 宮崎県	13.0%
3 福岡県	6.8%
4 熊本県	1.7%
5 鹿児島県	0.9%
6 山口県	0.6%
7 長崎県	0.5%
8 愛媛県	0.4%
9 広島県	0.4%
10 佐賀県	0.3%

● 佐伯市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

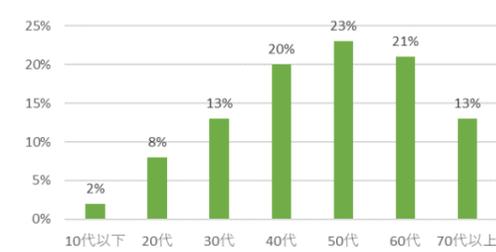


「佐伯市 観光」都道府県別検索者ボリューム

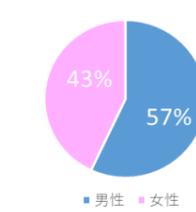
都道府県	検索ボリューム	特徴度
1 大分県	530	5
2 福岡県	340	5
3 東京都	220	0.5
4 大阪府	220	2
5 愛知県	140	1.5
6 宮崎県	110	5
7 埼玉県	60	0.5
8 千葉県	60	1
9 熊本県	60	5
10 北海道	50	0.5

※【特徴度】とは、各都道府県の人口が同じだと仮定した場合の検索ボリュームを5段階で表したものとなります。

「佐伯市 観光」検索者の年代割合



「佐伯市 観光」検索者の性別



「佐伯市 観光」を検索した人の時系列キーワード



「佐伯市 観光」の検索ボリューム：3,400

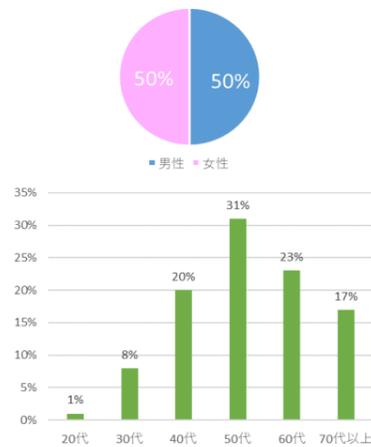
【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

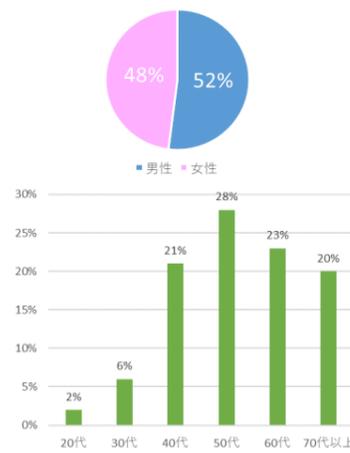
出典：Datawise Area Marketer

かまえインターパーク海への市



来訪元	割合
1 大分県	59.44%
2 宮崎県	20.08%
3 福岡県	8.75%
4 熊本県	2.18%
5 大阪府	0.92%
6 佐賀県	0.88%
7 広島県	0.80%
8 神奈川県	0.61%
9 鹿児島県	0.59%
10 山口県	0.50%

佐伯市街地



来訪元	割合
1 大分県	79.83%
2 福岡県	5.70%
3 宮崎県	2.84%
4 熊本県	1.19%
5 東京都	0.72%
6 神奈川県	0.52%
7 大阪府	0.49%
8 山口県	0.45%
9 長崎県	0.41%
10 兵庫県	0.39%

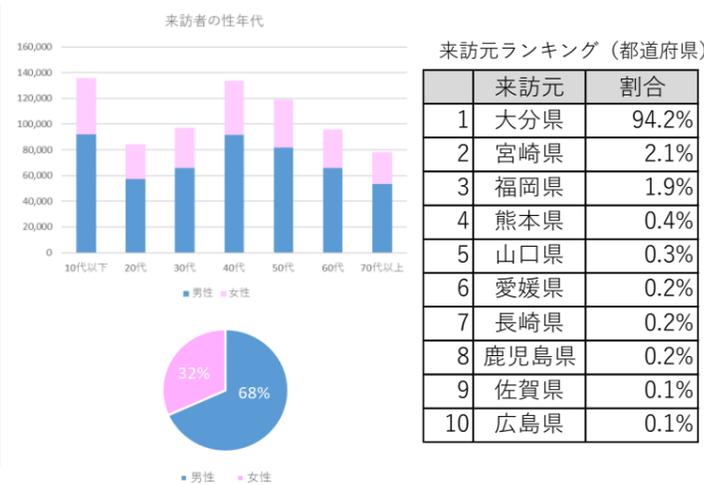
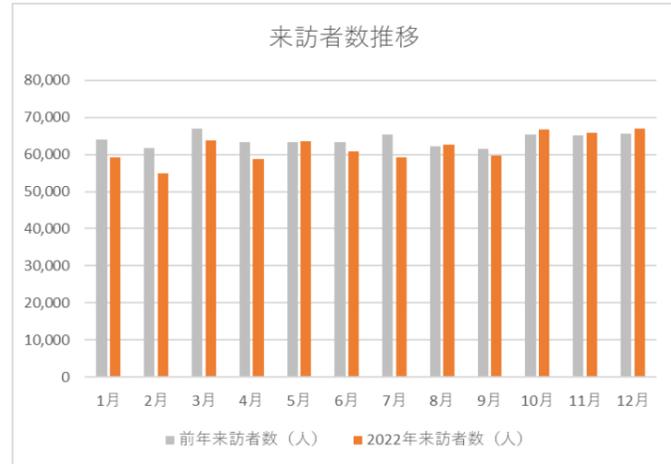
佐伯市の来訪者は、隣接する宮崎県からの来訪が多い。特に男性の来訪者が多く、「佐伯市 観光」の検索者も男性が多いのが特徴的である。県域版カルテの併用割合をみると、日豊海岸エリア内の臼杵市・津久見市との周遊のほか、奥豊後エリアの竹田市・豊後大野市との周遊も一定数見られることなどから、これらのエリアと連携した周遊プランやプロモーションを宮崎県・福岡県などに向けて強化することにより、更なる消費の拡大や旅行者の満足度向上にも繋がるのではないだろうか。

津久見市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

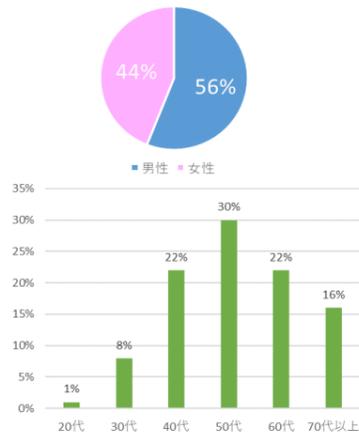
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	59,290	54,900	63,800	58,700	63,600	60,900	59,100	62,600	59,740	66,800	65,700	66,900	742,030
前年来訪者数 (人)	63,900	61,700	67,000	63,200	63,300	63,200	65,300	62,090	61,400	65,400	65,100	65,500	767,090
前年比 (%)	92.8%	89.0%	95.2%	92.9%	100.5%	96.4%	90.5%	100.8%	97.3%	102.1%	100.9%	102.1%	96.7%



● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

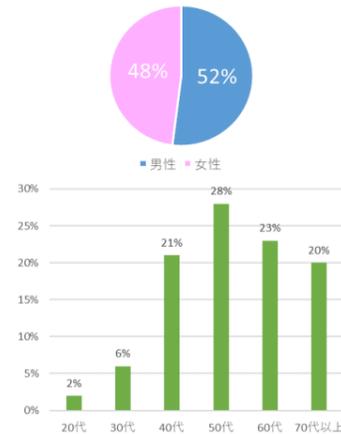
出典：Datawise Area Marketer

つくみルカ島



来訪元	割合
1 大分県	80.75%
2 福岡県	4.87%
3 宮崎県	1.08%
4 熊本県	0.91%
5 神奈川県	0.80%
6 東京都	0.56%
7 山口県	0.55%
8 愛知県	0.53%
9 兵庫県	0.53%
10 佐賀県	0.53%

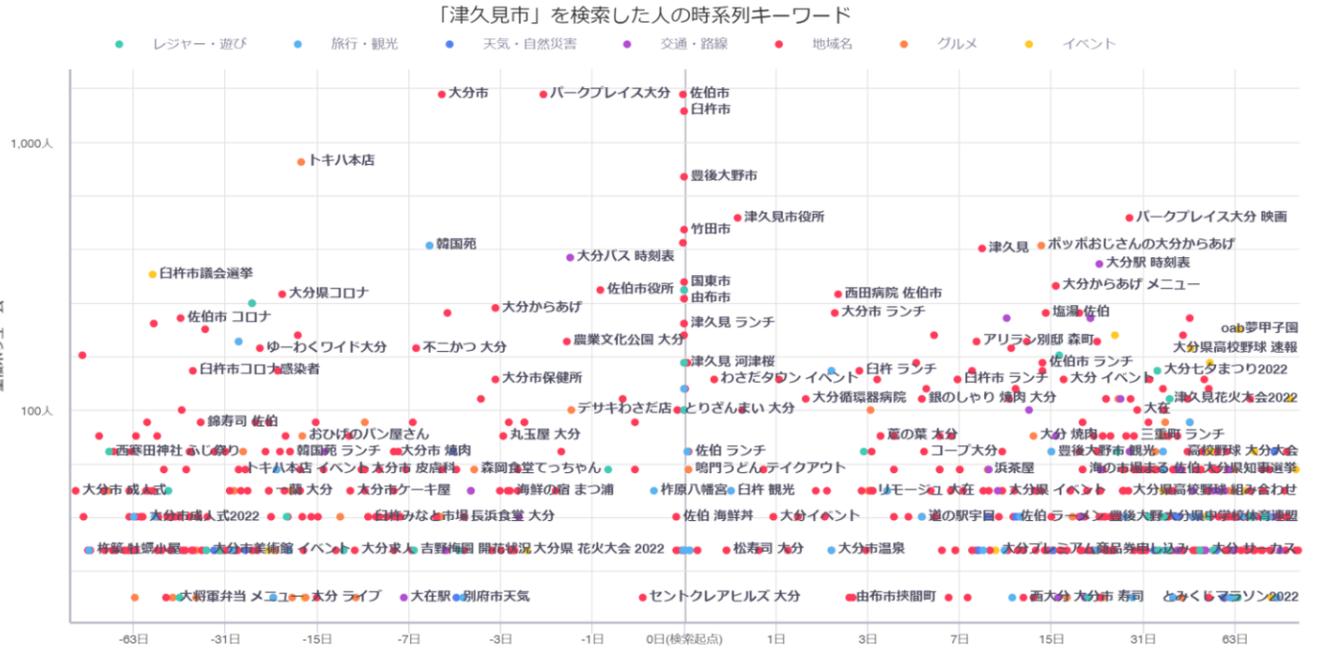
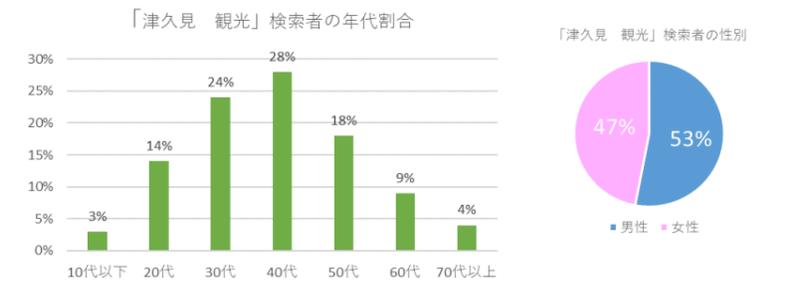
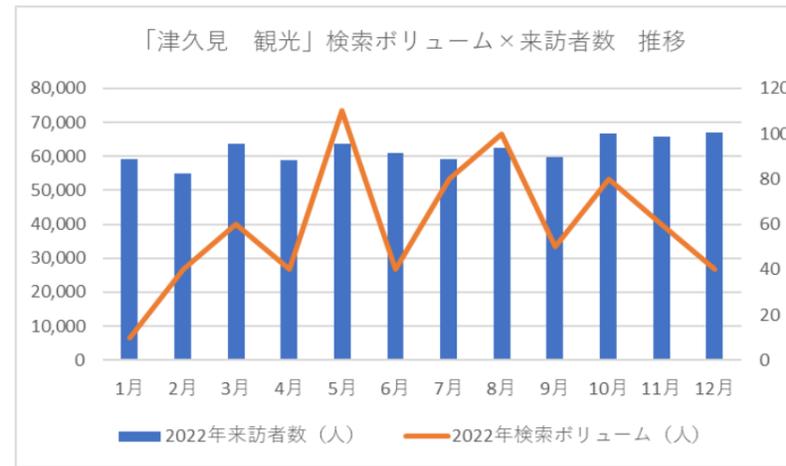
つくみん公園



来訪元	割合
1 大分県	79.83%
2 福岡県	5.70%
3 宮崎県	2.84%
4 熊本県	1.19%
5 東京都	0.72%
6 神奈川県	0.52%
7 大阪府	0.49%
8 山口県	0.45%
9 兵庫県	0.41%
10 兵庫県	0.39%

● 津久見市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「津久見市」の検索ボリューム：10,400

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

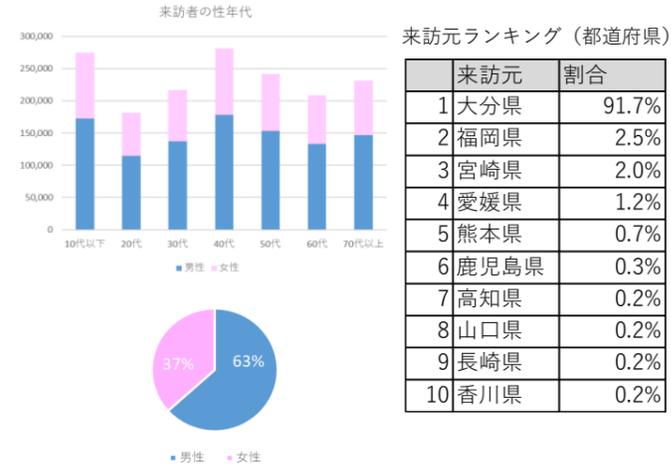
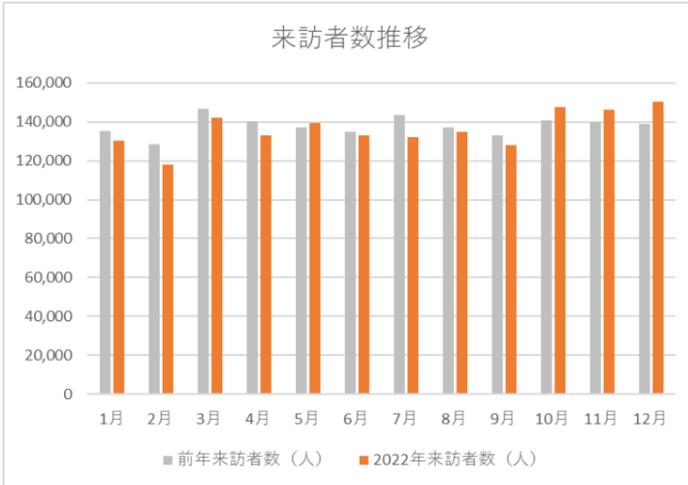
津久見市の来訪者は、10代や40代などのファミリー層が多い傾向にある。大分県内からの来訪が9割以上と多くを占めているが、宮崎県や福岡県からの来訪も一定数見られる。男性が多いことなどからビジネス客の来訪も多いと推測され、来訪者数は年間を通して安定しているものの、「津久見 観光」の検索ボリュームは5月や8月の大型連休に突出して多くなっている。「津久見市」を検索する人は同時に近隣の臼杵市・佐伯市や竹田市・豊後大野市を検索する人も多く、県域版カルテの併用割合をみても併用が見られるため、これらのエリアとの連携した滞在プランの検討やプロモーションを行うことにより来訪者の増加にも繋がるのではないかと考えられる。

臼杵市

● 来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

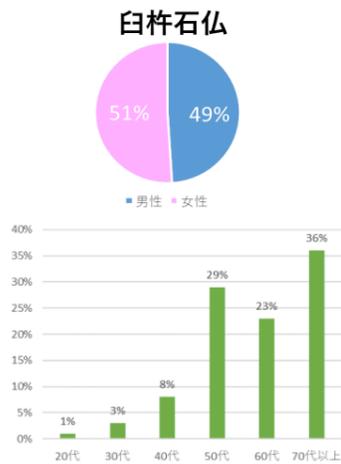
出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2022年来訪者数 (人)	130,300	117,900	142,100	133,000	139,400	132,800	131,900	135,000	127,800	147,600	146,300	150,300	1,634,400
前年来訪者数 (人)	135,200	128,600	146,600	140,400	137,100	134,800	143,200	137,200	132,900	140,800	139,900	138,800	1,655,500
前年比 (%)	96.4%	91.7%	96.9%	94.7%	101.7%	98.5%	92.1%	98.4%	96.2%	104.8%	104.6%	108.3%	98.7%

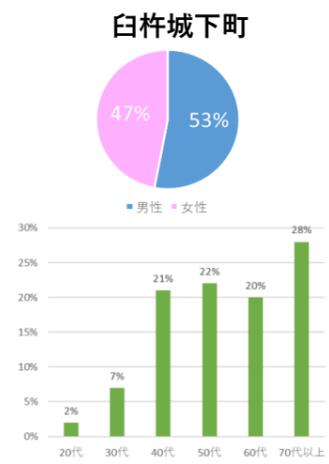


● 各スポット毎の来訪者の実態 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：Datawise Area Marketer



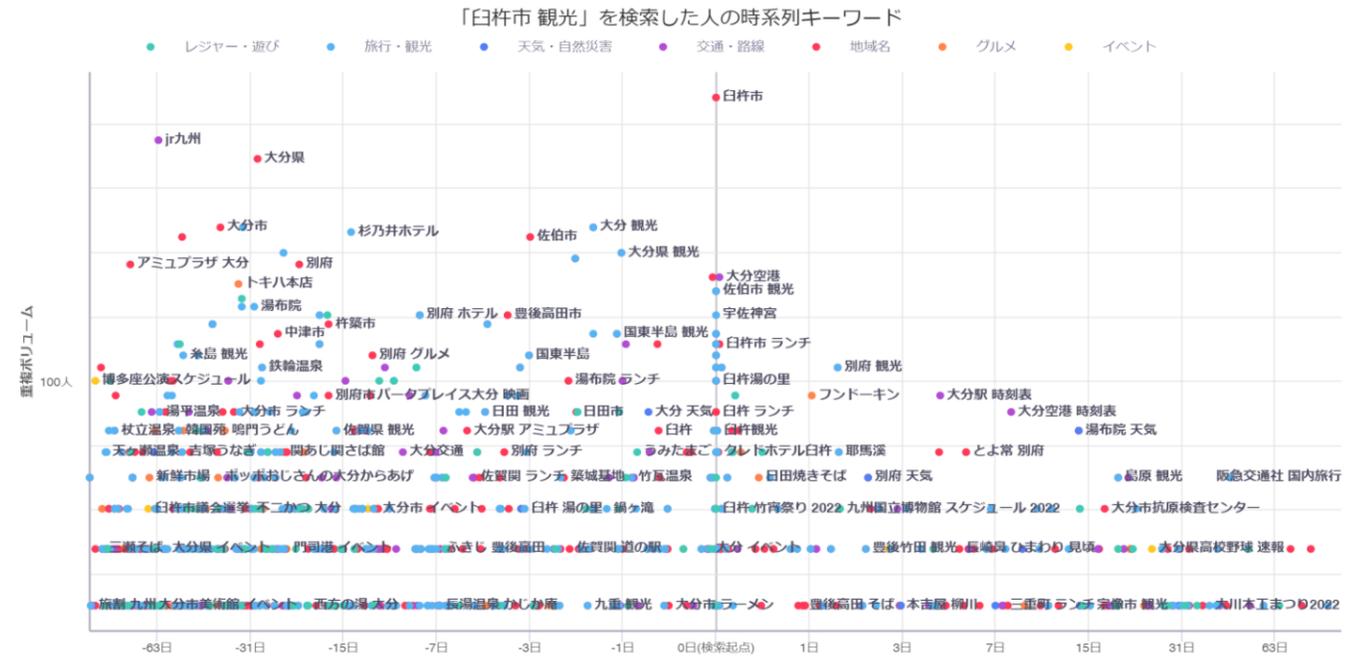
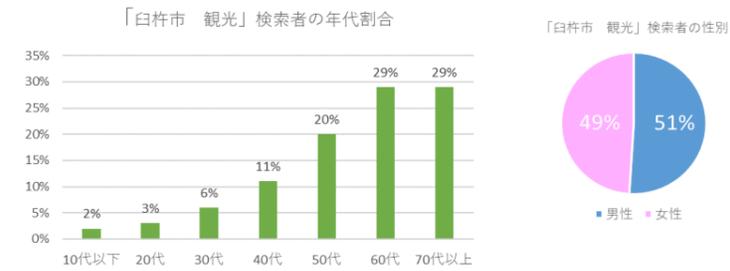
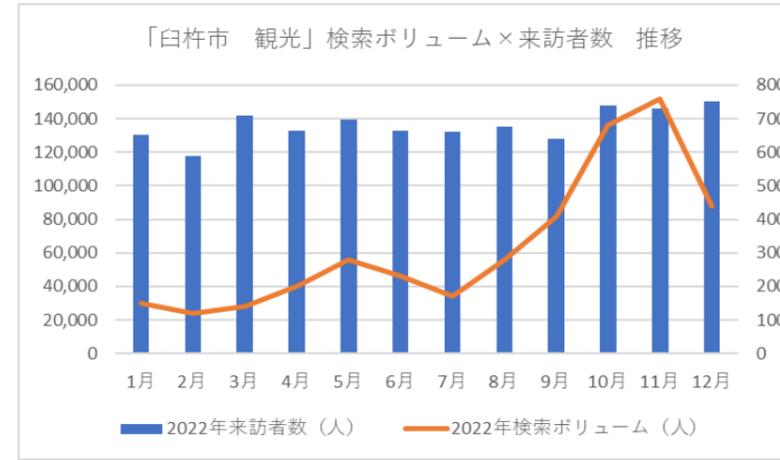
来訪元	割合
1 大分県	49.03%
2 福岡県	17.76%
3 熊本県	5.05%
4 東京都	3.02%
5 大阪府	3.00%
6 神奈川県	2.34%
7 佐賀県	2.07%
8 宮崎県	1.77%
9 愛知県	1.52%
10 北海道	1.35%



来訪元	割合
1 大分県	70.68%
2 福岡県	6.58%
3 愛媛県	2.84%
4 宮崎県	2.29%
5 熊本県	2.14%
6 神奈川県	1.10%
7 大阪府	1.00%
8 東京都	0.98%
9 香川県	0.93%
10 鹿児島県	0.85%

● 臼杵市に関する興味関心 (調査期間：2022年1月～2022年12月)

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



「臼杵市 観光」の検索ボリューム：3,700

【抽出条件】
 期間：2022/01/01～2022/12/31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重複ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

臼杵市の来訪者は10月～12月の秋～冬にかけて特に多い傾向にあり、観光に関する検索ボリュームも10月・11月に多くなっている。各観光スポットの来訪者や観光に関する検索者の属性をみると、50代～70代の比較的高齢層の来訪・関心が高いことが伺える。県内客の来訪が9割以上と多いが、「臼杵市 観光」と同時に「大分空港」の検索も多くあることなどから、国宝の石仏やふぐを始めとする食文化などの魅力的なコンテンツを、関東・関西などの遠方へも情報発信を強化することにより、秋冬だけでなく年間を通して来訪者の増加や消費の拡大に繋がるのではないだろうか。